

D-Link DNR-312L
mydlink 1bay Standalone Network Video Recorder

..... ユーザマニュアル



安全にお使いいただくために

ご自身の安全を確保し、システムを破損から守るために、以下に記述する安全のための指針をよくお読みください。

安全上のご注意

必ずお守りください

本製品を安全にお使いいただくために、以下の項目をよくお読みになり必ずお守りください。

 危険	この表示を無視し、間違った使い方をすると、死亡または重傷を負うおそれがあります。
 警告	この表示を無視し、間違った使い方をすると、火災や感電などにより人身事故になるおそれがあります。
 注意	この表示を無視し、間違った使い方をすると、傷害または物損損害が発生するおそれがあります。

記号の意味  してはいけない「**禁止**」内容です。  必ず実行していただく「**指示**」の内容です。

危険

 **禁止** 分解・改造をしない
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

 **禁止** ぬれた手でさわらない
感電の原因となります。

 **禁止** 水をかけたり、ぬらしたりしない
内部に水が入ると、火災、感電、故障の原因となります。

 **禁止** 水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）
でぬれた状態で触ったり、電源を入れたりしない
火災、やけど、けが、感電、故障の原因となります。

 **禁止** 各種端子やスロットに水などの液体（飲料水、汗、海水、
ペットの尿など）をいれない。万が一、入ってしまった場合は、
直ちに電源プラグをコンセントから抜く
火災、やけど、けが、感電、故障の原因となります。

 **禁止** 油煙、湯気、湿気、埃の多い場所、高温になる場所や
熱のこもりやすい場所（火のそば、暖房器具のそば、
こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内、
風呂場など）、振動の激しい場所では、使用、保管、放置しない
火災、やけど、けが、感電、故障の原因となります。

 **禁止** 内部に金属物や燃えやすいものを入れない
火災、感電、故障の原因となります。

 **禁止** 砂や土、泥をかけたり、直に置いたりしない。
また、砂などが付着した手で触れない
火災、やけど、けが、感電、故障の原因となります。

 **禁止** 電子レンジ、IH 調理器などの加熱調理機、
圧力釜など高圧容器に入れたり、近くに置いたりしない
火災、やけど、けが、感電、故障の原因となります。

警告

 **禁止** 落としたり、重いものを乗せたり、強いショックを
与えたり、圧力をかけたりしない
故障の原因となります。

 **禁止** 発煙、焦げ臭い匂いの発生などの異常状態のまま
使用しない
感電、火災の原因となります。
使用を止めて、ケーブル/コード類を抜いて、煙が出なくなって
から販売店に修理をご依頼ください。

 **禁止** 表示以外の電圧で使用しない
火災、感電、または故障の原因となります。

 **禁止** たこ足配線禁止
たこ足配線などで定格を超えると火災、感電、または故障の
原因となります。

 **指示** 設置、移動のときは電源プラグを抜く
火災、感電、または故障の原因となります。

 **禁止** 雷鳴が聞こえたら、ケーブル/コード類にはさわらない
感電の原因となります。

 **禁止** ケーブル/コード類や端子を破損させない
無理なねじり、引っ張り、加工、重いもの下敷きなどは、
ケーブル/コードや端子の破損の原因となり、火災、感電、
または故障の原因となります。

 **指示** 本製品付属の AC アダプタもしくは電源ケーブルを
指定のコンセントに正しく接続して使用する
火災、感電、または故障の原因となります。

 **禁止** 各光源をのぞかない
光ファイバケーブルの断面、コネクタおよび本製品のコネクタや
LED をのぞきますと強力な光源により目を損傷するおそれがあります。

 **禁止** 各種端子やスロットに導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を
接触させたり、ほごりが内部に入ったりしないようにする
火災、やけど、けが、感電または故障の原因となります。

 **禁止** 使用中に布団で覆ったり、包んだりしない
火災、やけどまたは故障の原因となります。

 **指示** ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する可能性のある場所や
粉じんが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前に本製品の電源を切る
引火性ガスなどが発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。

 **禁止** カメラのレンズに直射日光などを長時間あてない
素子の退色、焼付きや、レンズの集光作用により、
火災、やけど、けがまたは故障の原因となります。

 **指示** 無線製品は病院内で使用する場合は、
各医療機関の指示に従って使用する
電子機器や医療電気機器に悪影響を及ぼすおそれがあります。

 **禁止** 本製品の周辺に放熱を妨げるようなもの
（フィルムやシールでの装飾を含む）を置かない
火災、または故障の原因となります。

 **指示** 耳を本体から離してご使用ください
大きな音を長時間連続して聞くと、難聴などの耳の障害の原因となります。

 **指示** 無線製品をご使用の場合、医用電気機器などを
装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは、
販売業者に、電波による影響について確認の上使用する
医療電気機器に悪影響を及ぼすおそれがあります。

 **指示** 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う
電子機器の近くでは使用しない
電子機器が誤作動するなど、悪影響を及ぼすおそれがあります。

 **指示** ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際は、
割れたガラスや露出した端末内部に注意する
破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電の原因となります。

 **指示** ペットなどが本機に噛みつかないように注意する
火災、やけど、けがなどの原因となります。

 **禁止** コンセントに AC アダプタや電源ケーブルを
抜き差しするときは、金属類を接触させない
火災、やけど、感電または故障の原因となります。

 **禁止** AC アダプタや電源ケーブルに
海外旅行用の変圧器等を使用しない
発火、発熱、感電または故障の原因となります。

警告

- !** ACアダプタもしくは電源プラグについたほこりは、拭き取るほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電または故障の原因となります。
- !** ACアダプタや電源ケーブルをコンセントにさしこむときは、確実に差し込む。確実に差し込まないと、火災、やけど、感電もしくは故障の原因となります。
- !** 接続端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用を中止する。また、変形をもとに戻しての使用も行わない。端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電または故障の原因となります。
- !** 各種接続端子を機器本体に接続する場合、斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしない。火災、やけど、感電または故障の原因となります。
- !** 使用しない場合は、ACアダプタもしくは電源ケーブルをコンセントから抜く。電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、感電または故障の原因となります。
- !** お手入れの際は、ACアダプタもしくは電源ケーブルをコンセントから抜く。抜かずに行くと、火災、やけど、感電または故障の原因となります。
- 禁止** SD や MicroSD カード、USB メモリの使用中は、カードやメモリを取り外したり、本製品の電源を切ったりしない。データの消失、機器本体の故障の原因となります。
- 禁止** 磁気カードや磁気を帯びたものを本製品に近づけない。磁気カードのデータが消えてしまうおそれもしくは機器本体の誤作動の原因となります。
- !** ディーリンクジャパンが販売している無線機器は国内専用のため、海外で使用しない。海外では国によって電波使用制限があるため、本製品を使用した場合、罰せられる場合があります。海外から持ち込んだディーリンク製品や並行輸入品を日本国内で使用する場合も同様に、罰せられる場合があります。

注意

- 禁止** 乳幼児の手の届く場所では使わない。やけど、ケガまたは感電の原因となります。
- !** 静電気注意
コネクタや電源プラグの金属端子に触れたり、帯電したものを近づけると故障の原因となります。
- 禁止** コードを持って抜かない
コードを無理に曲げたり、引っ張ると、コードや機器本体の破損の原因となります。
- 禁止** 振動が発生する場所では使用しない
故障の原因となります。
- !** 付属品の使用は取扱説明書に従う
本製品の付属品は、取扱説明書に従い、他の製品に使用しないでください。機器の破損の原因となります。
- 禁止** 破損したまま使用しない
火災、やけどまたはけがの原因となります。
- 禁止** ぐらついた台の上や傾いた場所などの不安定な場所や高所には置かない
落下して、けがなどの原因となります。
- 禁止** 子供が使用する場合は、保護者が取扱いの方法を教え、誤った使い方をさせない。けがや故障などの原因となります。
- !** 本製品を長時間連続使用する場合は、温度が高くなることがあるため、注意する。また、使用中に眠ってしまうなどして、意図せず長時間触れることがないようにする。温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどの原因となります。
- 禁止** コンセントにつないだ状態で、ACアダプタや電源コンセントに長時間触れない。やけど、感電の原因となります。
- !** 一般の電話機やコードレス電話、テレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用しない。近くで使用すると、本製品が悪影響を及ぼす原因となる場合があるため、なるべく離れた場所で使用してください。
- 禁止** D-Link が指定したオプション品がある場合は、指定オプション品を使用する。不正なオプション品を使用した場合、故障、破損の原因となります。

電波障害自主規制について

本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。

この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

ご使用上の注意

けがや感電、火災および装置の破損のリスクを減らすために、以下の注意事項を遵守してください。

- マニュアルなどに記載されている以外の方法でのご使用はやめてください。
- 食べ物や飲み物が本製品にかからないようにしてください。また、水気のある場所での運用は避けてください。
- 本製品の開口部に物をさしこまないでください。火事や感電を引き起こすことがあります。
- 付属の AC アダプタもしくは電源ケーブルのみを使用してください。
- 感電を防止するために、本製品と周辺機器の電源ケーブルは、正しく接地された電気コンセントに接続してください。
- やむなく延長コードや電源分岐回路を使用する場合においても、延長コードと電源分岐回路の定格を守ってください。延長コードまたは電源分岐回路に差し込まれているすべての製品の合計定格アンペア数が、その延長コードまたは、電源分岐回路の定格アンペア限界の 8 割を超えないことを確認してください。
- 一時的に急激に起こる電力の変動から本製品を保護するためには、サージサプレッサ、回線調整装置、または無停電電源装置（UPS）を使用してください。
- ケーブルと電源コードは慎重に取り付けてください。踏みつけられたり躓いたりしない位置に、ケーブルと電源コードを配線し、コンセントに差し込んでください。また、ケーブル上に物を置いたりしないようにしてください。
- 電源ケーブルや電源プラグを改造しないでください。
- システムに対応しているホットプラグ可能な電源装置に電源を接続したり、切り離したりする際には、以下の注意を守ってください。
 - 電源装置を取り付ける場合は、電源装置を取り付けてから、電源ケーブルを電源装置に接続してください。
 - 電源装置を取り外す場合は、事前に電源ケーブルを抜いておいてください。
 - システムに複数の電源がある場合、システムから電源を切り離すには、すべての電源ケーブルを電源装置から抜いておいてください。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取り扱い説明書に従ってください。
- カバーを外す際、あるいは内部コンポーネントに触れる際は、製品の温度が十分に下がってから行ってください。
- 本製品は動作中に高温になる場合があります。本製品の移動や取り外しの際には、ご注意ください。
- 本製品は動作中に高温になる場合がありますが、手で触れることができる温度であれば故障ではありません。ただし長時間触れたまま使用しないでください。低温やけどの原因になります。
- 市販のオプション品や他社製品を使用する場合、当社では動作保証は致しませんので、予めご了承ください。
- 製品に貼られている製品ラベルや認証ラベルをはがさないでください。はがしてしまうとサポートを受けられなくなります。

静電気障害を防止するために

静電気は、本製品内部の精密なコンポーネントを損傷する恐れがあります。静電気による損傷を防ぐため、本製品に触れる前に、身体から静電気を逃がしてください。

さらに、静電気放出（ESD）による損傷を防ぐため、以下の手順を実行することをお勧めします。

1. 機器を箱から取り出すときは、機器をシステム等に取り付ける準備が完了するまで、本製品を静電気防止包装から取り出さないでください。静電気防止包装から取り出す直前に、必ず身体の静電気を逃がしてください。
2. 静電気に敏感な部品を運ぶ場合、最初に必ず静電気対策を行ってください。
3. 静電気に敏感な機器の取り扱いには、静電気のない場所で行います。可能であれば、静電気防止床パッド、作業台パッド、および帯電防止接地ストラップを使用してください。

電源の異常

万一停電などの電源異常が発生した場合は、必ず本スイッチの電源プラグを抜いてください。電源が再度供給できる状態になってから電源プラグを再度接続します。

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。

本書は、製品を正しくお使いいただくための取扱説明書です。

必要な場合には、いつでもご覧いただけますよう大切に保管してください。

また、必ず本書、設置マニュアル、および弊社 WEB に掲載された製品保証規程をよくお読みいただき、内容をご理解いただいた上で、記載事項に従ってご使用ください。

製品保証規定は以下を参照ください。

<https://www.dlink-jp.com/support/product-assurance-provision>

- 本書の記載内容に逸脱した使用の結果発生した、いかなる障害や損害において、弊社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。
- 弊社製品の日本国外でご使用の際のトラブルはサポート対象外になります。

なお、本製品の最新情報やファームウェアなどを弊社ホームページにてご提供させていただく場合がありますので、ご使用前にご確認ください。製品保証、保守サービス、テクニカルサポートご利用について、詳しくは弊社ホームページのサポート情報をご確認ください。

<https://www.dlink-jp.com/support>

目次

安全にお使いいただくために.....	2
ご使用上の注意.....	4
静電気障害を防止するために.....	4
電源の異常.....	4
はじめに	8
本マニュアルの対象者.....	9
表記規則について.....	9
第1章 本製品のご利用にあたって	10
製品概要.....	10
対応カメラ.....	10
前面パネル.....	11
背面パネル.....	12
第2章 ハードウェアの設置とセットアップ	13
パッケージの内容.....	13
システム要件.....	13
セットアップウィザード (本体の設置).....	14
セットアップウィザードについて.....	14
ハードディスクドライブの設置.....	15
セットアップウィザード (基本設定).....	19
電源の供給と NVR の検索.....	19
パスワードの設定.....	20
時間設定.....	21
SNMP 設定.....	22
ハードディスクの設定.....	23
インターネット設定.....	24
mydlink アカウントへの登録.....	25
カメラの検索と追加設定.....	26
セットアップ完了 /NVR への接続.....	27
第3章 mydlink での管理	28
mydlink について.....	28
mydlink アカウントへのアクセス方法.....	28
My Devices (マイデバイス).....	29
NVR Info (NVR について).....	29
Settings (詳細情報).....	30
mydlink 表示画面について (NVR).....	31
Live Video (ライブ映像).....	32
Playback (録画再生).....	33
録画検索.....	34
Status (ステータス).....	35
NVR Info (NVR の詳細情報).....	35
mydlink View - NVR (NVR アプリ).....	36
mydlink への追加 /My Devices (mydlink View).....	36
ライブ映像 (mydlink View).....	37
ビデオ再生 (mydlink View).....	39
第4章 Web ベース設定ユーティリティ	40
初回接続時の基本設定.....	40
Web ユーティリティへのログイン.....	40
Web マネージャのメニュー構成.....	41
Live Video (ライブ映像).....	42
表示設定バーについて (ライブ映像).....	42
詳細設定バーについて (ライブ映像).....	43
Playback (録画再生).....	46
表示設定バーについて (録画再生).....	46
詳細設定バーについて (録画再生).....	47
録画映像の再生方法 (録画映像の検索).....	48
NVR の基本設定 (メニューバー).....	49
Wizard (セットアップウィザード).....	50
Setup (詳細設定).....	52
Network (ネットワーク設定).....	53

Camera (カメラ設定)	56
Schedule (スケジュール設定)	59
Event (イベント設定)	60
Maintenance (メンテナンス)	65
Camera Search (カメラ検索)	70
Album (アルバム)	71
Backup (バックアップ)	72
Help (ヘルプ)	73
第 5 章 NVR アプリケーションによる設定・管理	74
NVR Search Utility (NVR 検索ユーティリティ)	74
NVR Search Utility のメニュー	74
Playback Manager (プレイバックマネージャ)	75
Remote Backup (リモートバックアップ)	76
Verification Tool (データ検証ツール)	79
付録 A よくお問い合わせいただくご質問 (FAQ)	80

はじめに

DNR-312L ユーザマニュアルは、本製品のインストールおよび操作方法を例題と共に記述しています。

第1章 本製品のご利用にあたって

- 本製品の概要とその機能について説明します。また、前面、背面、底面の各パネルと LED 表示について説明します。

第2章 ハードウェアの設置とセットアップ

- セットアップウィザードを使った本製品の基本的な設置方法と初期の基本設定について説明します。

第3章 mydlink での管理

- mydlink を使用しインターネットに接続されたコンピュータを介して、mydlink に登録された NVR を閲覧・制御する方法について説明します。

第4章 Web ベース設定ユーティリティ

- 本製品の基本的な設定、ユーザ管理、ログ取得方法など Web マネージャを使用した管理機能について説明します。

第5章 NVR アプリケーションによる設定・管理

- NVR アプリケーションを使用した映像の視聴、再生、バックアップなどについて説明します。

付録 A よくお問い合わせいただく質問 (FAQ)

- 本製品のインストールと操作で発生する問題への解決策を提供します。

本マニュアルの対象者

本マニュアルは、本製品の設置および管理についての情報を記載しています。また、ネットワーク管理の概念や用語に十分な知識を持っているネットワーク管理者を対象としています。

表記規則について

本項では、本マニュアル中での表記方法について説明します。

注意 注意では、特長や技術についての詳細情報を記述します。

警告 警告では、設定の組み合わせ、イベントや手順によりネットワークの接続状態やセキュリティなどに悪影響を及ぼす恐れのある事項について説明します。

表 1 に、本マニュアル中での字体・記号についての表記規則を表します。

表 1 字体・記号の表記規則

字体・記号	解説	例
「」	メニュータイトル、ページ名、ボタン名。	「Submit」 ボタンをクリックして設定を確定してください。
青字	参照先。	" ご使用になる前に " (13 ページ) をご参照ください。
courier フォント	CLI 出力文字、ファイル名。	(switch-prompt)#
courier 太字	コマンド、ユーザによるコマンドライン入力。	show network
courier 斜体	コマンド項目 (可変または固定)。	value
<>	可変項目。<> にあたる箇所には値または文字を入力します。	<value>
[]	任意の固定項目。	[value]
[<>]	任意の可変項目。	[<value>]
{}	{ } 内の選択肢から 1 つ選択して入力する項目。	{choice1 choice2}
(垂直線)	相互排他的な項目。	choice1 choice2
Menu Name > Menu Option	メニュー構造を示します。	Device > Port > Port Properties は、「Device」メニューの下の「Port」メニューの「Port Properties」メニューオプションを表しています。

第1章 本製品のご利用にあたって

- 製品概要
- 前面パネル
- 背面パネル

本マニュアルでは、本製品の設置および管理、設定の方法について記述しています。

製品概要

DNR-312Lは最大9つのネットワークカメラからのビデオ映像を録画可能な、ベイ1つ搭載スタンドアロンのネットワークビデオレコーダ(NVR)です。mydlinkクラウドに接続すると、WebブラウザやNVRのWebGUIを使用して簡単にインターネット経由でどこからでも映像の視聴や録画映像の確認を行うことが可能です。さらにDNR-312Lは録画中にも保存された映像の視聴を行う事ができ、mydlinkクラウドとD-Linkの高解像度技術、多機能IPカメラを結合することにより、本製品は映像表示、ストレージ、マネージメントの包括的なソリューションを提供することが可能です。

クラウドからの簡単アクセス

弊社の提供するmydlinkクラウドにDNR-312Lを追加すると、クラウド経由でNVRに簡単にアクセスできるようになります。mydlinkアプリでスマートフォンやタブレット端末からの監視や録画した映像の管理、閲覧を簡単に行うことができます。

多様なモニタリング機能

DNR-312Lは、Webブラウザによりライブ映像や録画映像を容易に視聴することができます。さらに管理画面上での監視や映像の管理に複数のオプションを提供します。複数のチャンネル(カメラ)が存在する監視システムの場合、選択したカメラをインタフェースの表示エリアにドラッグ&ドロップするだけで、録画状態とともにカメラ名を表示画面に追加することができます。単一のカメラの場合、フルスクリーンの双方向音声にて表示することができ、パン&チルト、ズームなどの機能をインタフェース上で映像を直接クリックすることなどで実行できます。

データ管理セキュリティ

セキュリティ管理設定によりIPアドレスを基準にした外部機器からのNVRへのアクセスを制限し、セキュリティを強化することができます。更にアクセスするカメラなどによりユーザ権限を設定することも可能です。録画されたデータは追加の外部ストレージ機器などに定期的、または必要時にバックアップされるように設定することが可能です。

多彩な録画&再生機能

DNR-312Lのインタフェースでは接続したすべてのカメラのフレームレート、解像度、そして圧縮率などを簡単に設定できます。一度設定されると録画は継続的に、またはユーザ定義のスケジュールに従って実行されます。また動体検知などの機能により、指定のイベントに反応して録画を開始することも可能です。映像の視聴においても、DNR-312Lはインターネット経由でどこからでもライブ映像の視聴や録画データを提供する複数のネットワークカメラを管理し、直接アクセスする事ができます。さらに録画中もデータの再生が可能など、ビデオデータ管理機能はNVRとしてとても有効な機能が備わっています。コンパクトサイズで運びやすいDNR-312Lはいかなる場所にも設置が可能です。

特徴

- mydlinkクラウド対応
- 1ベイタイプ SATA II/III 3.5 インチ 10TB HDD 搭載 *1
- 9チャンネル同時モニタリング / 録画 (mydlink 使用時は 4チャンネル同時)
- 9チャンネル同時プレイバック映像再生 (mydlink 使用時は 4チャンネル同時)
- H.264/MPEG-4/M-JPEG 対応
- 自動スケジュール録画設定
- 動体検知 *2
- 自動上書き
- カレンダー映像検索
- AVI/ASF ビデオ出力
- JPEG/BMP 画像出力
- RoHS 指令対応

*1 ハードディスクは同梱されておりません。別途お買い求め頂く必要があります。

*2 DCS-4603、DCS-4703E に対する動体検知機能の設定はサポートしていません。

対応カメラ

DNR-312Lは以下のD-Link IPカメラに対応しています。

- DCS-5222L
- DCS-6004L
- DCS-7010L
- DCS-4603
- DCS-4703E
- DCS-4802E

前面パネル

DNR-312L の前面パネルには、ステータスを表示する Power LED、HDD LED および Network LED が配置されています。

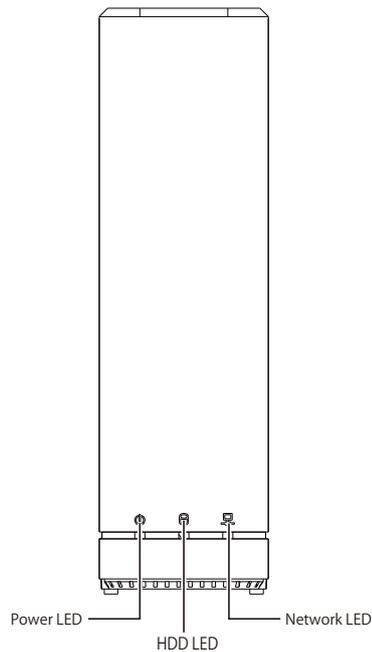


図 1-1 前面パネル図

ステータス LED は以下の状態を表示します。

表 1-1 LED 表示

LED	色	状態	状態説明
Power	緑	点灯	電源が供給され正常に動作しています。
	緑	点滅	機器が起動中です。
	—	消灯	機器に電源が供給されていません。
HDD	緑	点灯	ハードディスクが搭載されています。
		点滅	ハードディスクの読み込み / 書き込みが行われています。
	赤	点灯	ハードディスクが故障、またはインストールに失敗しています。
Network	緑	点灯	ネットワークにリンクしています。
		点滅	ネットワークでデータを送受信しています。
	—	消灯	リンクが確立していません。

背面パネル

DNR-312L の背面パネルには、電源ボタン、USB ポート、ファン、音声入出力プラグ、HDMI ポート、電源プラグおよび 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T ポートが配置されています。

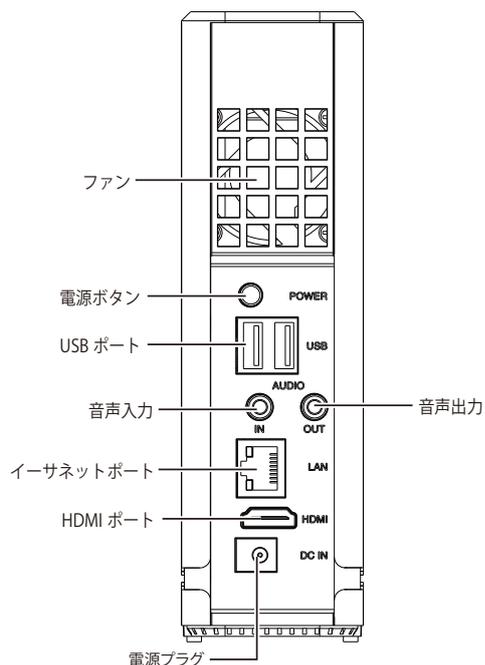


図 1-2 背面パネル図

表 1-2 背面パネル機能

部位	機能
ファン	システムの温度を調整します。
電源ボタン	機器の電源をオン/オフにします。
USB ポート	ローカルコントロール用にマウスや USB ストレージの接続を行います。
音声出力 / 音声入力	音声入力 - 録音のためのマイクなどの音声入力端子を接続します。 音声出力 - 再生時の音声出力のためにスピーカなどの音声出力端子を接続します。
ギガビットイーサネットポート (10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T)	ギガビットイーサネットポートでネットワークに接続します。
HDMI ポート	テレビやモニタなどと接続を行います。
電源プラグ	付属の電源コードを接続し、機器に電源を供給します。
リセットボタン (底面)	システムの再起動や初期化を行う際に使用します。リセットするには 10 秒以上押したままにします。 注意 リセットボタンは本体の底面部にあります。

第2章 ハードウェアの設置とセットアップ

- パッケージの内容
- システム要件
- セットアップウィザード (本体の設置)
- セットアップウィザード (基本設定)

パッケージの内容

ご購入いただいた製品の梱包箱を開け、同梱物を注意して取り出してください。以下のものが同梱されています。

- 本体 x 1
- ACアダプタ x 1
- ネットワークケーブル x 1
- クイックインストールガイド x 1
- CD-ROM x 1
- PLシート x 1
- シリアルラベル x 1
- ネジ x 5

システム要件

本製品が動作するためには、以下のシステム条件が必要です。

ハードウェア要件

- 3.5 インチ SATA ハードディスクドライブ (同梱されていません)

ネットワーク要件

- インターネット接続 (リモートアクセス用)
- IP カメラ (対応するカメラについては D-Link ホームページにてご確認ください。)
- イーサネットスイッチまたはルータ

Web ベース設定ユーティリティ要件 / リモートコンピュータ最小要件

- コンピュータの最小要件
 - Windows 7/8/Vista のいずれかの OS または Mac OS X (10.7 以上)
 - Intel Pentium4 2.4GHz 以上
 - 512MB 以上
- ブラウザ
 - Internet Explorer 9, Safari 4 以上

注意 最新バージョンの Java がインストールされていることをご確認ください。最新バージョンは www.java.com でダウンロードすることができます。

セットアップウィザード（本体の設置）

セットアップウィザードについて

お使いの PC で付属の CD-ROM を使用して「セットアップウィザード」を起動させることで、NVR へのハードディスクの搭載から mydlink アカウントの登録、ネットワークカメラの登録まで、全ての初期インストールプロセスを行うことが可能です。

1. 付属の CD-ROM を使用してセットアップウィザードを起動させ、「Start」をクリックします。



図 2-1 Setup Wizard 画面

ハードディスクドライブの設置

注意 本製品は電源を入れる前に、少なくとも 1 個の 3.5 インチ SATA ハードディスクドライブを設置する必要があります。

1. 「Setup Wizard」の初期画面で「Start」をクリックします。エンドユーザライセンスと利用条件に同意をして、ハードディスクドライブのインストール手順を表示します。「Next」をクリックします。

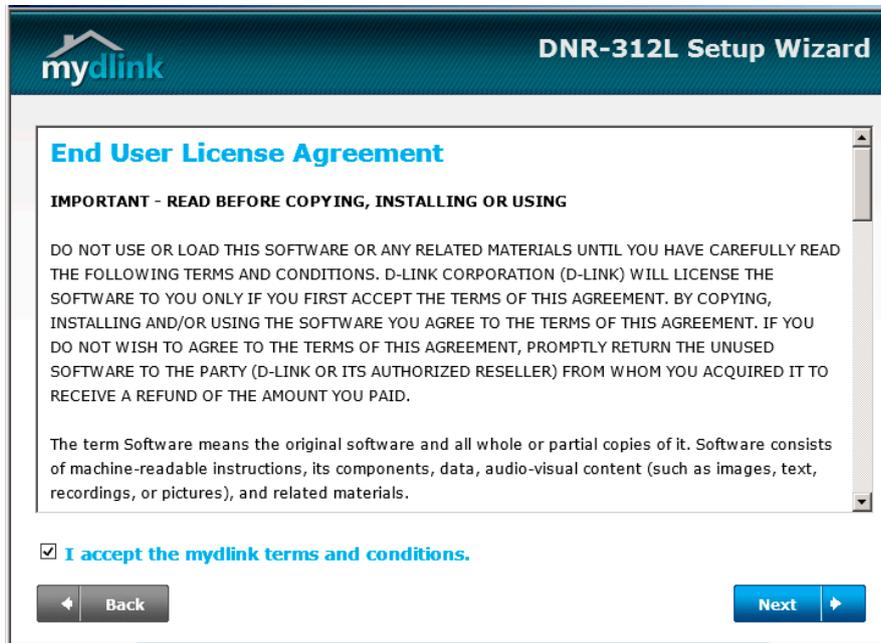


図 2-2 ライセンス同意 画面

2. 滑らない平面などに DNR-312L を置き、「+ ドライバ」を使って NVR の底面にある 2 つのネジを外します。筐体の底面から外側に押し込みカバーを外します。「Next」をクリックします。



図 2-3 カバー取り外し画面

3. 筐体からカバーを外し NVR を縦に置きます。上部からドライブベイに 3.5 インチハードディスク（別売り）を差し込みます。「Next」をクリックします。



図 2-4 ハードディスク差し込み画面

注意 ハードディスクの SATA コネクタが SATA ソケットと正しく合致していない場合、NVR は正しく起動しません。

4. 付属のネジを使い、画像の赤丸箇所ネジ止めをし、筐体にハードドライブを取り付けます。「Next」をクリックします。



図 2-5 ハードディスク取り付け画面

5. ハードドライブのネジ止め完了後、取り外したカバーのフックを筐体の刻み目に合わせカバーを塞ぎます。「Next」をクリックします。



図 2-6 カバー取り付け①画面

6. カバーを下方向にスライドし、取り外したNVRの底面のネジを取り付けます。「Next」をクリックします。



図 2-7 カバー取り付け②画面

- イーサネットケーブルを NVR の背面にあるイーサネットポートに接続し、もう一方をネットワーク (ルータ等) に接続します。「Next」をクリックします。



図 2-8 ネットワークの接続画面

- NVR の背面にある電源プラグに付属の電源アダプタを接続し、電源ボタンを押します。(数秒間)。「Next」ボタンをクリックする前に、DNR-312L の前面にある「電源 LED」が点灯していることを確認します。



図 2-9 電源の供給画面

電源供給後、「Next」をクリックするとネットワーク上のデバイス (NVR) の検索を開始します。続いて NVR の起動と検出を行います。「電源の供給と NVR の検索」を参照してください。

注意 セットアップウィザードを実行している PC と NVR は同じネットワーク (サブネット) 内にある必要があります。ネットワークで DHCP サーバが使用されている場合は、NVR は自動的にネットワークに接続されます。

セットアップウィザード（基本設定）

電源の供給と NVR の検索

NVR に電源を供給しネットワーク上の NVR を検出します。

- ハードディスクドライブを NVR に設置しネットワークに接続した後は、背面にある電源プラグに付属の電源アダプタを接続し、電源ボタンを押して NVR に電源を供給します。DNR-312L の前面にある「電源 LED」が点灯していることを確認した後、ネットワーク上のデバイス (NVR) を検索、検出します。「Next」をクリックします。



図 2-10 電源の供給画面

- ネットワーク上のデバイス (NVR) が検出されます。設定する NVR を選択した後、「Next」をクリックします。



図 2-11 カメラ検出 / 選択画面

注意 同じ NVR が複数検出された場合、セットアップする NVR を確認するには、NVR の背面にある MAC アドレスを確認し整合を図ってください。続いてパスワードの設定を行います。「パスワードの設定」を参照してください。

パスワードの設定

NVR を保護するためのパスワードを設定します。

1. 管理者 (Admin) 用パスワードを指定します。初期値では「Admin ID」は「admin」、パスワードは空欄になっています。パスワードを設定し「Next」をクリックします。

図 2-12 パスワード設定画面

注意 既に mydlink に追加済みで再度セットアップを行う必要がない場合は、パスワードを入力して「Camera Serch」をクリックすると、最終プロセスの「カメラの検索と追加設定」に移動し、カメラ検索を開始します。

2. 既存のパスワードがあり、パスワードを変更する場合「I want to change the password」にチェックを入れ、新しいパスワードと確認用のパスワードを入力します。「Next」をクリックします。

図 2-13 パスワード再設定画面

続いて NVR の時間設定を行います。「時間設定」を参照してください。

時間設定

NVR の時間設定を行います。

1. NVR の時間設定を行います。

The screenshot shows the 'Set your NVR date and time' step of the DNR-312L Setup Wizard. It includes sections for 'Time and Date' (manual date and time input), 'NTP Server' (checkbox for synchronization and server selection), 'Time Zone' (dropdown menu), and 'Daylight Saving Time' (checkbox for enabling and manual setting of start/end times and offset).

図 2-14 時間設定画面

項目	概要
Time and Date	<ul style="list-style-type: none"> Date - 日付を指定します。 Time - 時間を指定します。
NTP Server	<p>「Synchronize with NTP Server」 - チェックするとネットワーク内のNTPサーバと同期して時間を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> NTP Server - 「<< Select NTP Server」で選択したNTPサーバが表示されます。 「<< Select NTP Server」 - ネットワーク内のNTPサーバを選択、指定します。
Time Zone	ドロップダウンメニューからタイムゾーンを指定します。
Daylight Saving Time	<p>「Enable Daylight Saving」 - チェックを入れるとサマータイムを導入します。</p> <ul style="list-style-type: none"> Auto Daylight Saving - 自動的にサマータイムに移行します。 Set date and time manually - 手でサマータイムへの移行日時を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> Start Time - サマータイムの開始日時を指定します。 End Time - サマータイムの終了日時を指定します。 Offset - サマータイムのオフセットを指定します。

設定後「Next」をクリックします。

続いてSNMPの設定を行います。「SNMP設定」を参照してください。

SNMP 設定

NVR の SNMP 設定を行います。

NVR をモニタリングするための SNMP の NMS の項目を指定します。

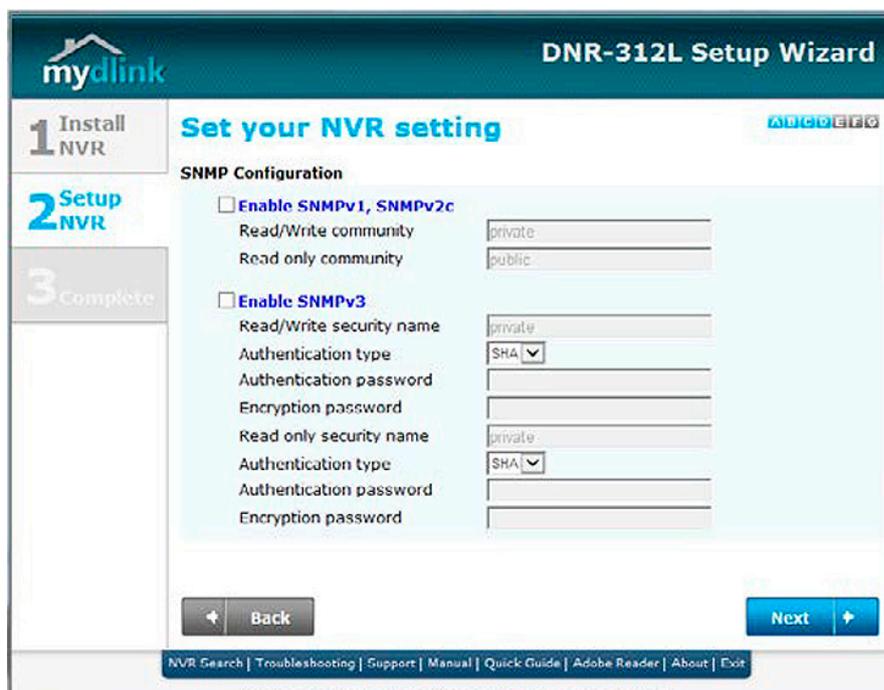


図 2-15 SNMP 設定画面

項目	概要
Name	名前を指定します。
Description	概要について指定します。
Enable SNMPv1, SNMPv2c	チェックを入れ「SNMPv1」「SNMPv2c」を有効にします。 <ul style="list-style-type: none"> Read/Write community - SNMP によるアクセスが読み書き可能であるコミュニティ名を設定します。 Read only community - SNMP によるアクセスが読み出し専用であるコミュニティ名を設定します。
Enable SNMPv3	チェックを入れ「SNMPv3」を有効にします。 <ul style="list-style-type: none"> Read/Write security name - SNMP によるアクセスが読み書き可能であるセキュリティ名を設定します。 Authentication type - 認証タイプを指定します「SHA」「MD5」から指定します。 Authentication password - 認証パスワードを指定します。 Encryption password - 暗号パスワードを指定します。 Read only security name - SNMP によるアクセスが読み出し専用であるセキュリティ名を設定します。 Authentication type - 認証タイプを指定します「SHA」「MD5」から指定します。 Authentication password - 認証パスワードを指定します。 Encryption password - 暗号パスワードを指定します。

設定後「Next」をクリックします。

続いてハードディスクの設定を行います。「[ハードディスクの設定](#)」を参照してください。

ハードディスクの設定

NVR のハードディスク設定を行います。

本項目では NVR にインストールしたハードディスクをスキャンし、検出されたハードディスクをフォーマットすることができます。フォーマットを行うとハードディスクの全データが削除されます。不要な場合は「Skip」をクリックします。



図 2-16 ハードディスク設定画面

注意 ハードディスクを選択後、「Next」をクリックするとハードディスクの全データが消去されます。不要な場合は「Skip」をクリックして次のステップへ移行します。

続いてインターネットの設定を行います。「インターネット設定」を参照してください。

インターネット設定

本項目ではインターネットへの接続を設定します。

NVR にインターネット接続がない場合、「PPPoE」または「Static IP」でインターネット接続の設定を行います。お使いのプロバイダに設定情報についてご確認ください。

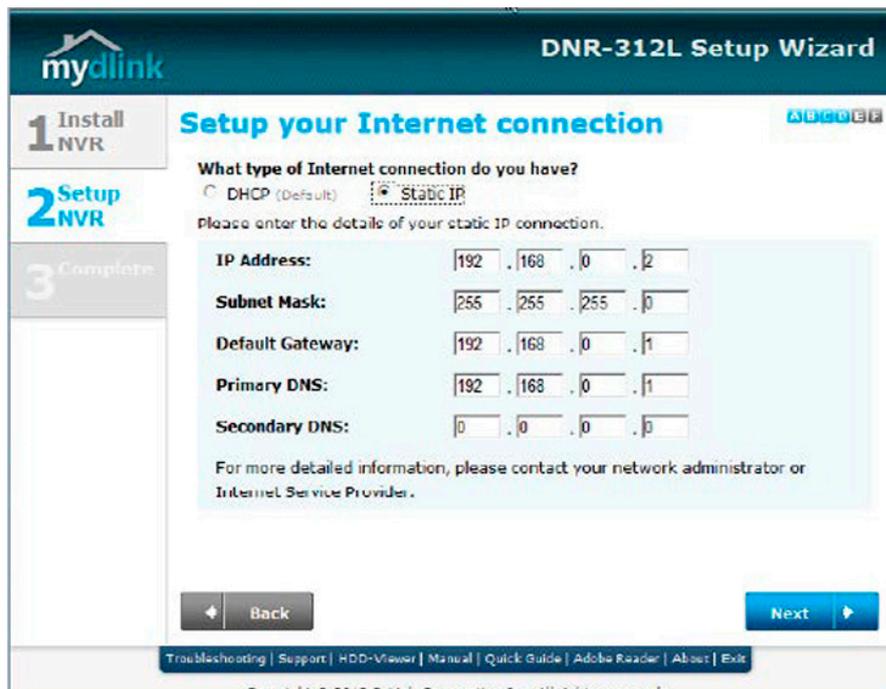


図 2-18 インターネット設定 - Static IP 画面

項目	概要
What type of Internet connection do you have?	<ul style="list-style-type: none"> • DHCP (Default) - ネットワーク内に DHCP サーバがある場合選択します。(初期値) • Static IP - 固定 IP アドレスを NVR に割り当てます。
IP Address	固定 IP アドレスを指定します。
Subnet Mask	サブネットマスクをします。
Default Gateway	デフォルトゲートウェイを指定します。
Primary DNS	プライマリ DNS を指定します。
Secondary DNS	セカンダリ DNS を指定します。

DHCP を選択すると自動的に NVR に割り振られた IP アドレスの設定が表示されます。

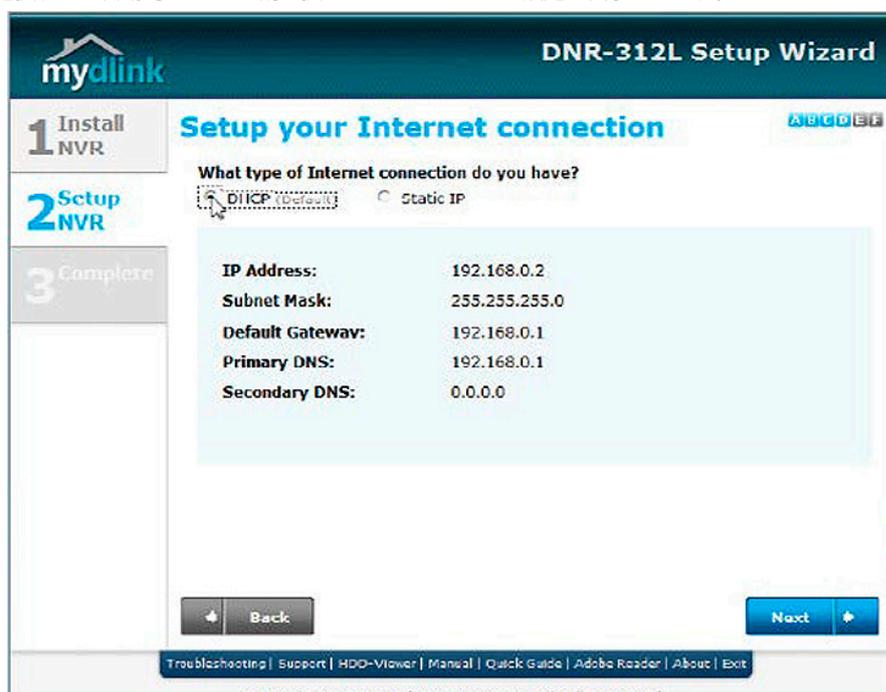


図 2-19 インターネット設定 - DHCP 画面

mydlink アカウントへの登録

mydlink アカウントに NVR を追加します。

mydlink アカウントに NVR を追加すると、インターネットを経由して NVR にアクセスすることが可能になります。



図 2-20 mydlink へのアカウント追加 画面

項目	概要
Do you have a mydlink account?	<ul style="list-style-type: none"> • Yes, I already have a mydlink account. - 既に mydlink アカウントを保持している場合、選択します。 • No, I need to sign up for a new account. - 新しく mydlink アカウントを作成する場合、選択します。 • I don't want to sign up right now. - mydlink アカウントを作成しない場合、選択します。

アカウントを保持している場合、アカウント名 (E-mail アドレス) とパスワードを入力してログインします。

アカウントを作成する場合、「E-mail」「Password」「Retype Password」(確認)「First Name」「Last Name」を入力しアカウントを作成します。

設定後「Next」をクリックします。続いてカメラの検索 / 追加設定を行います。「カメラの検索と追加設定」を参照してください。

カメラの検索と追加設定

本項目ではネットワーク内のカメラを検索し NVR に登録することが可能です。登録済みの mydlink カメラも自動的に追加されます。スキャンをして検出されたカメラの「Password」をクリックし、カメラに設定されているパスワードを入力、保存するとカメラは登録されます。

「mydlink アカウントへの登録」の設定が終わると自動的にカメラの検索を開始します。

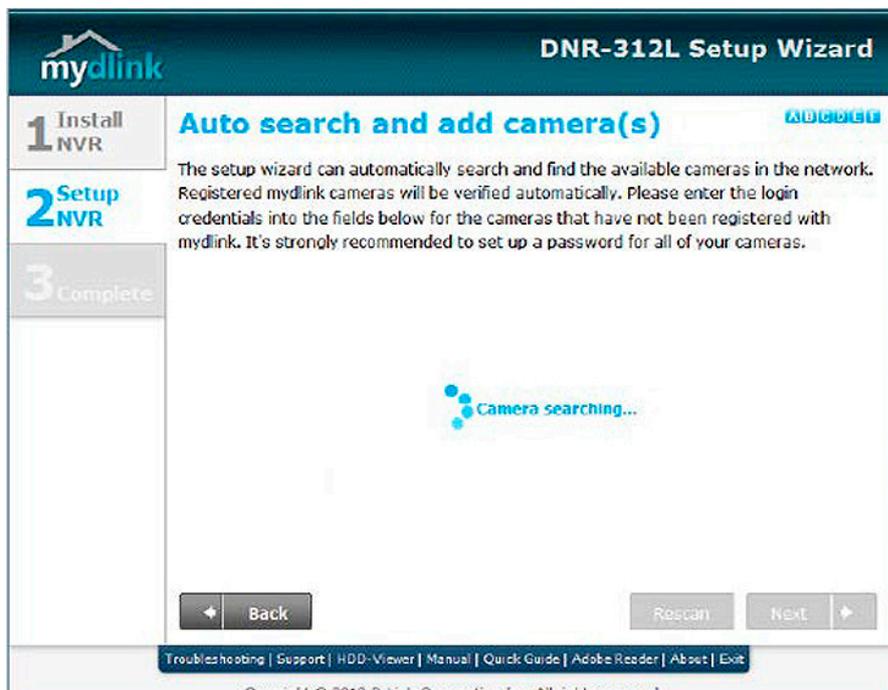


図 2-21 カメラの検索 画面

スキャンが終了すると以下の画面が表示されます。検出されたカメラの「Password」の赤アイコンをクリックし、カメラに設定されているパスワードを入力、保存するとカメラは NVR へ登録されます。

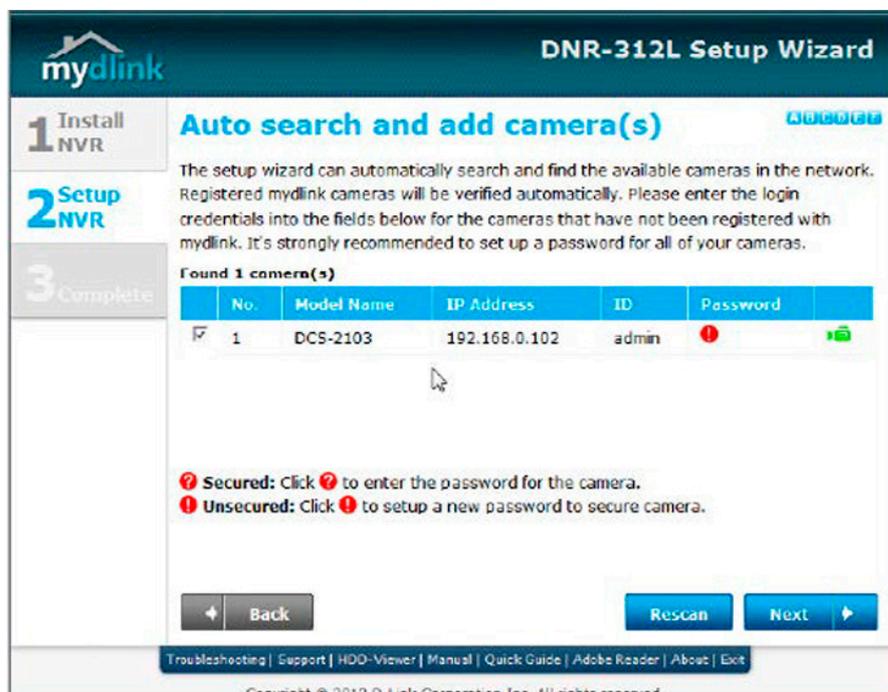


図 2-22 カメラ検出 画面

設定後「Next」をクリックします。「セットアップ完了 /NVR への接続」を参照してください。

セットアップ完了 /NVR への接続

「カメラの検索と追加設定」を終えるとセットアップウィザードでの設定作業は完了です。



図 2-23 セットアップウィザードの完了画面

「Go to NVR」をクリックするとお使いのブラウザが起動し、NVR の Web GUI にさらなる設定や詳細情報が表示されます。

「Finish」をクリックしてセットアップウィザードを終了します。

「NVR Information」には設定した NVR の情報が表示されます。

「Save a shortcut to mydlink on the Desktop」にチェックを入れると、「mydlink」のショートカットがデスクトップに表示されます。

注意 本項目で表示の IP アドレスなどの情報は、mydlink を経由しない接続、設定時に必要になります。

第3章 mydlink での管理

- mydlink について
- My Devices (マイデバイス)
- mydlink 表示画面について (NVR)
- Live Video (ライブ映像)
- Playback (録画再生)
- Status (ステータス)
- NVR Info (NVR の詳細情報)
- mydlink View - NVR (NVR アプリ)

mydlink について

mydlink を使用すると、インターネットに接続されたコンピュータを介して、mydlink に登録されたデバイスを閲覧・制御することができます。セットアップウィザードの「mydlink アカウントへの登録」で作成した mydlink アカウントの情報を元に「www.mydlink.com」へアクセス、NVR や登録されたカメラを管理、設定することができます。

注意事項

- mydlink サイトからのお問い合わせページは利用ができませんので、ご注意ください。
お問合せは、mydlink サイトのお問合せメニューからではなく、必ず下記のディーリンクジャパンのサポートページからお問合せください。
<http://www.dlink-jp.com/support/contact>

mydlink アカウントへのアクセス方法

1. インターネットに接続されたコンピュータ上で Web ブラウザを開きます。
2. アドレスバーに <http://www.mydlink.com> を入力し、Enter を押下します。
3. アカウントを入力してサインインします。

注意事項

- Java および ActiveX の両方をブラウザがサポートしており、これらの機能がインストールされ有効化されていることをご確認ください。
- Windows はデフォルトで Java がインストールされていません。<http://www.java.com> から最新バージョンをダウンロードすることができます。
- MAC OS X 10.7.x において、Java アプレットはデフォルトで無効化されています。Java アプレットを有効化するには、**Finder > アプリケーション > ユーティリティ > Java Preferences** をクリックし、アプレットプラグインと Web 開始アプリケーションオプションが有効になっていることを確認してください。
- IE 内の ActiveX® コントロールは必要に応じて自動的にインストールされます。**ツール > インターネットオプション > セキュリティ > カスタムレベル**内の関連オプションが有効化されていることを確認することをお勧めします。



図 3-1 mydlink サインイン画面

mydlink サインイン画面からサインインすると「My Devices」ページが表示され、「NVR Info」タブで登録したデバイス (NVR) が表示されます。

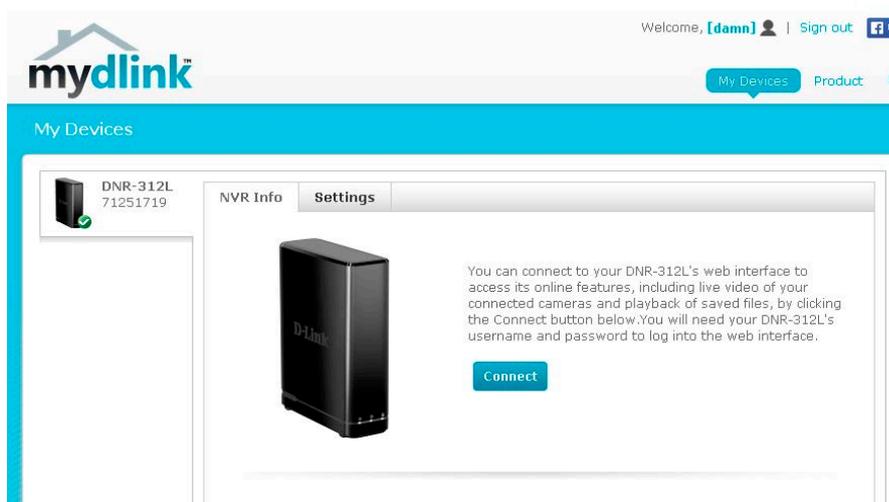


図 3-2 mydlink 初期画面 (NVR)

My Devices (マイデバイス)

「My Devices」ページには「NVR Info」と「Settings」があります。

NVR Info (NVR について)

「NVR Info」タブでは mydlink アカウントへ登録したデバイス (NVR) の状態とデバイスへの「Connect」ボタンが表示されます。

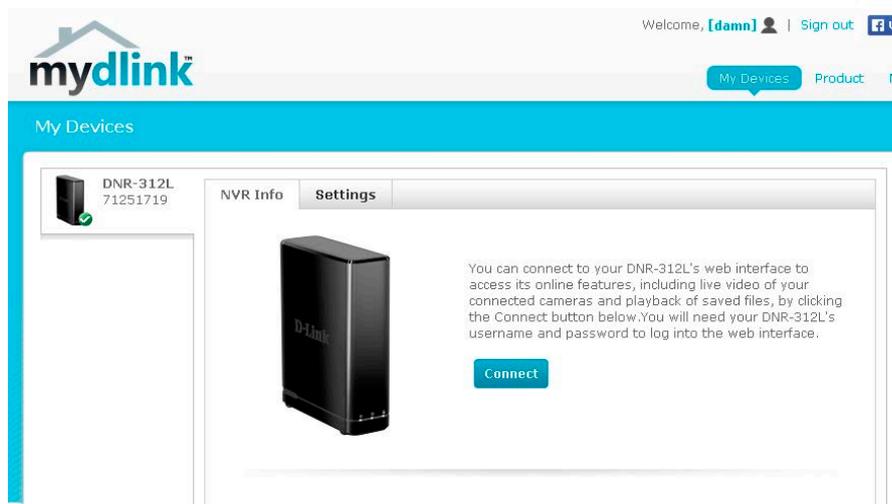


図 3-3 NVR Info 画面

左上の NVR アイコンで NVR の現在の状態を把握することが可能です。

アイコン	状態
	アイコンが緑マークの時は NVR はネットワーク上にあり使用することができます。
	アイコンが黄色マークの時は NVR はネットワーク上にありますがパスワードが変更されています。接続には NVR の新しいパスワードを指定する必要があります。
	アイコンが赤マークの時は NVR はネットワークに接続されておらず、リモートでアクセスする事ができません。

NVR がオフラインの場合、以下の対処方法があります。

- NVR へのインターネット接続の有無を確認する。
- インターネットへ接続するルータを再起動する。
- 接続しているケーブルの状態を確認する。
- NVR の LED が緑色に点灯しているか確認する。

それでも NVR へのアクセスができない場合は、NVR をリセットして再度セットアップウィザードを試みてください。

本画面では以下の項目が表示されます。

項目	概要
Connect	mydlink アカウントから NVR に接続します。

NVR への接続には「Connect」ボタンをクリックし、表示されるダイアログに、セットアップウィザードの「パスワードの設定」で設定した NVR の「パスワード」と「管理者 ID (初期値: admin)」を入力します。NVR への接続が完了すると NVR の初期画面である「Live Video (ライブ映像)」ページが表示されます。

Settings (詳細情報)

「Settings」タブで登録したデバイス（NVR）の詳細情報が表示されます。mydlink アカウントからの削除を行うことも可能です。

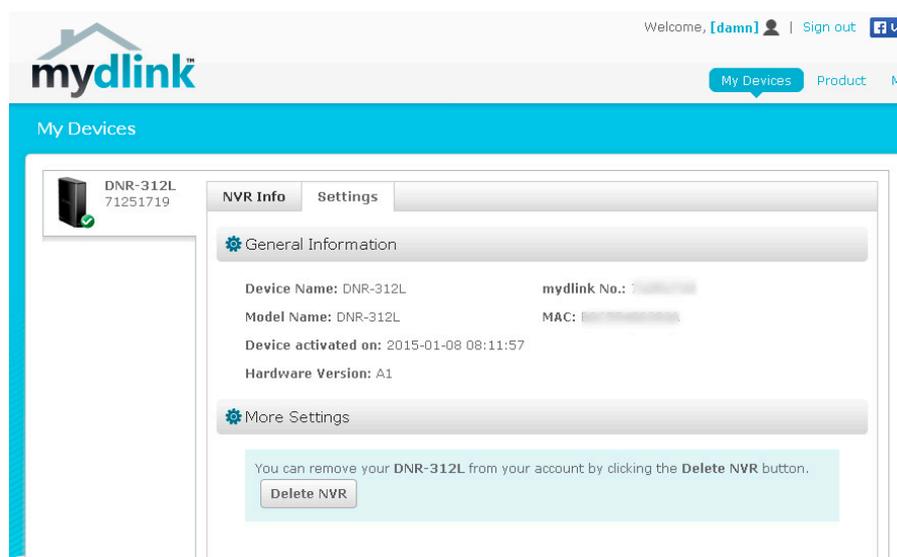


図 3-4 Settings 画面

Settings では以下の項目が表示されます。

項目	概要
General Information	
Device Name	デバイス名が表示されます。
mydlink No.	mydlink の識別番号が表示されます。
Model Name	デバイスのモデル名が表示されます。
MAC	デバイスの MAC アドレスが表示されます。
Device activated on	デバイスの起動日時が表示されます。
Hardware Version	デバイスのハードウェアバージョンが表示されます。
More Settings	
Delete NVR	「Delete NVR」をクリックするとデバイスの mydlink アカウントからの削除を行います。

設定後「Next」をクリックします。

mydlink 表示画面について (NVR)

NVR への接続後、mydlink の初期画面が表示されます。各タブ、各項目について説明します。

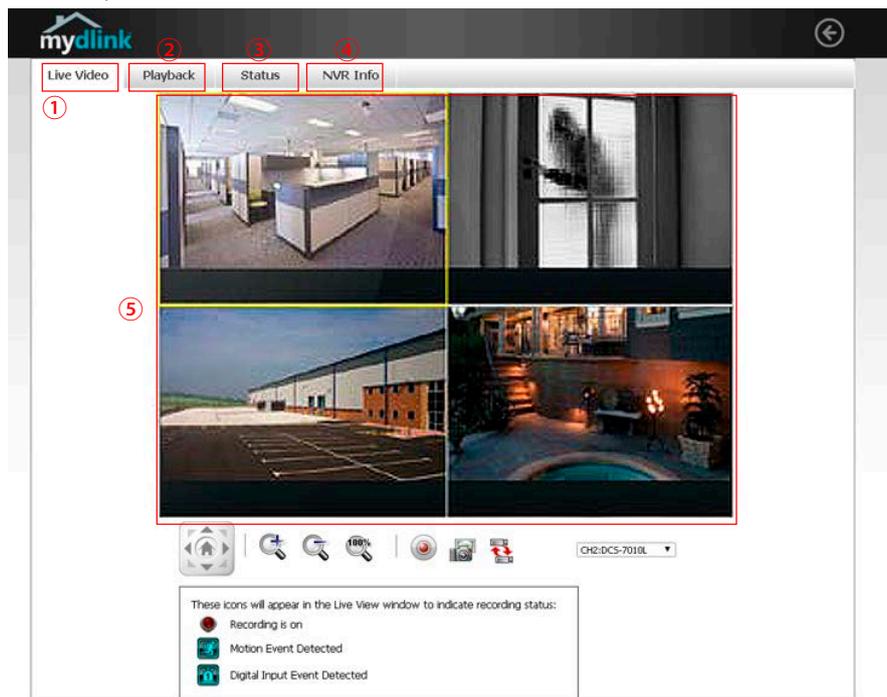


図 3-5 mydlink 表示画面 (NVR 接続後)

本画面では以下の項目が表示されます。

	概要
①	「Live Video」- ライブ映像を表示するタブです。
②	「Playback」- 録画した映像を表示するタブです。
③	「Status」- NVR/ カメラのステータスを表示するタブです。
④	「NVR Info」- NVR の詳細情報について表示するタブです。
⑤	映像を表示します。

Live Video (ライブ映像)

NVR への接続後、「Live Video」タブが表示され、登録しているカメラに映っている現在の映像が表示されます。画面にあるドロップダウンリストから接続している他のカメラやほかの有効なチャンネルの映像を選択、確認できます。

イベント発生時や NVR による録画中などの通知はコントロール画面下部に表示されます。

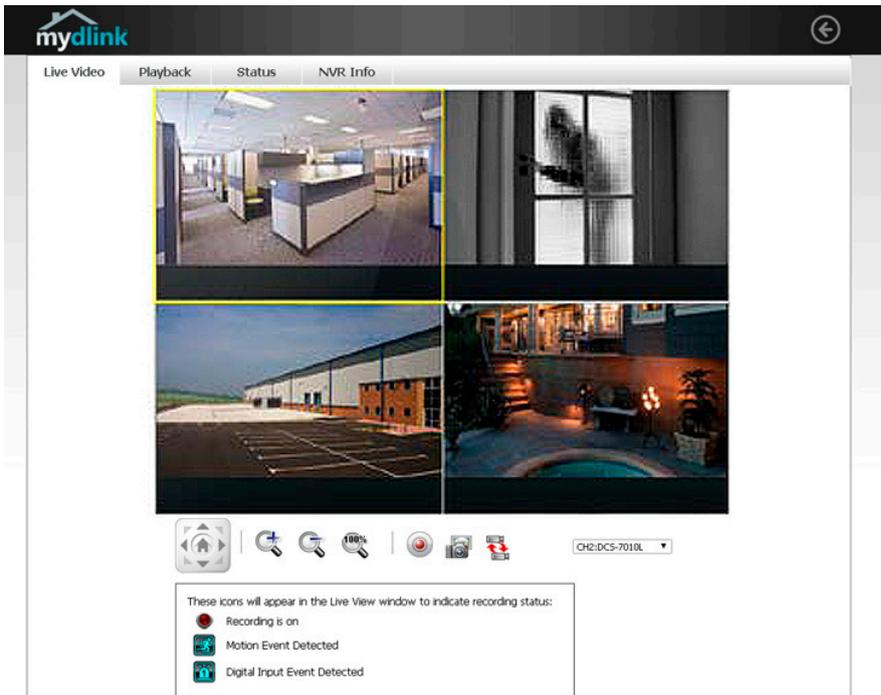


図 3-6 Live Video 画面

本画面では以下の項目が表示されます。

アイコン	名称	概要
	カメラコントロール	対応カメラのパン&チルトに使用します。
	ズーム	「+」はズームイン、「-」はズームアウトに使用します。
	実際のサイズ	映像を実際の解像度で表示します。
	録画	録画を開始/停止します。
	画像の保存	映像のスナップショットを撮影します。
	グランスモード	グランスモードで表示します。 グランスモードではチャンネルを一定の時間で変更し、少しづつ全カメラの映像を表示していきます。
	チャンネル選択	表示するカメラ (チャンネル) を指定します。
ステータスアイコン		
	録画中です。	
	動作検知を実行しています。	
	デジタル入力のイベントが発生しています。	

Playback (録画再生)

「Playback」タブでは過去に NVR に録画した映像を様々な機能とともに表示します。

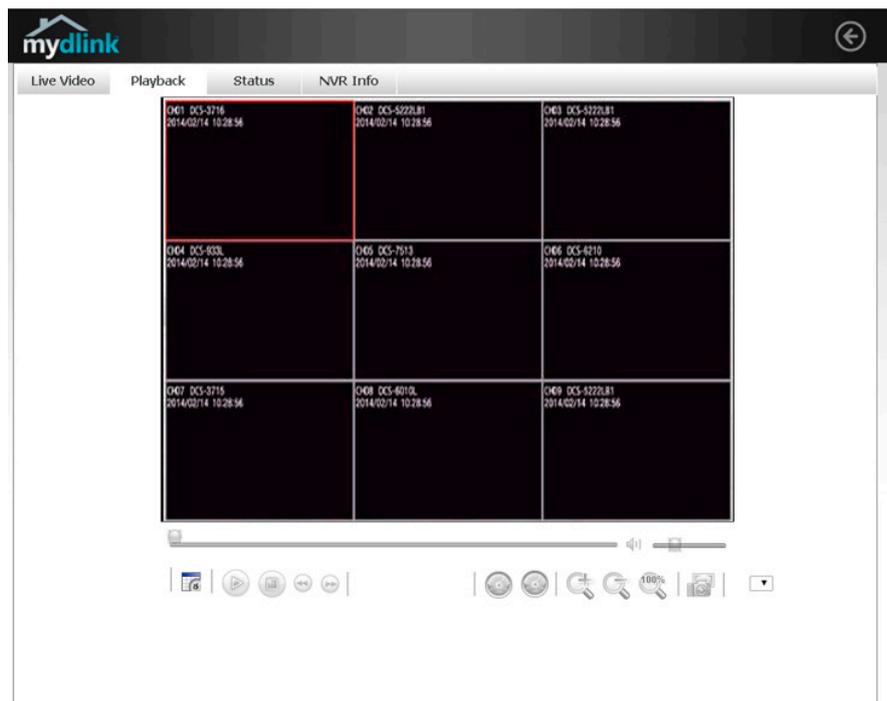


図 3-7 Playback 画面

本画面では以下の項目が表示されます。

アイコン	名称	概要
	プログレスバー	指定のポイントの表示時間の映像を表示させます。
	音量調整	スライダで音量を調整します。
	録画検索	保存した映像の検索ダイアログ「View Recorded File」が表示されます。 録画検索について詳しくは「 録画映像の再生方法 (録画映像の検索) 」を参照ください。
	一時停止	再生映像を一時停止します。
	停止	再生映像を停止します。
	先送り / 戻し	映像を停止して前後のフレームごとに表示します。
	早送り 遅送り	映像再生を早送り、またはゆっくりにします。
	ズーム	「+」はズームイン、「-」はズームアウトに使用します。
	実際のサイズ	映像を実際の解像度で表示します。
	録画	映像のスナップショットを撮影します。

録画検索

「Playback」の「録画設定」をクリックすると保存した映像の検索ダイアログが表示されます。日付や時間などで表示したい映像を選択できます。

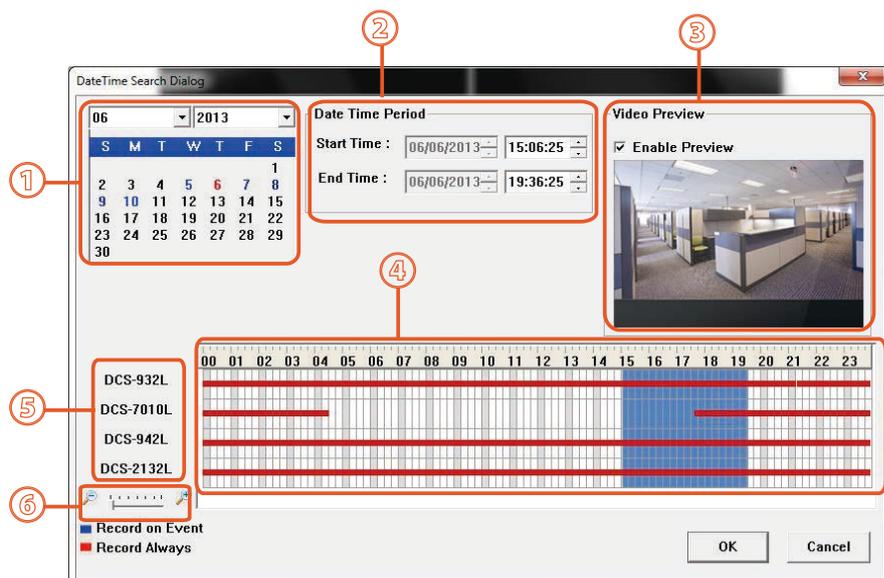


図 3-8 録画検索画面

本画面では以下の項目が表示されます。

	概要
①	日付選択 - 表示する映像の録画年月日を選択します。 カレンダー内の青い日付は映像データが記録された日です。
②	期間選択 - 表示する映像の録画期間を選択します。
③	プレビュー表示 - 「Enable Preview」にチェックを入れるとプレビューが表示されます。
④	タイムライン - 各カメラによる撮影期間が表示されます。
⑤	録画に使用したデバイス（カメラ）が表示されます。
⑥	タイムラインをズームイン/アウトします。

Status (ステータス)

NVR や NVR に接続しているストレージのステータスを表示します。



図 3-9 Status 画面

本画面では以下の項目が表示されます。

項目	概要
Name	デバイス名。HDD はハードディスク、USB は USB ポート接続のストレージを指します。
Total Hard Drive Capacity	ハードドライブの総量
Used Space	ハードドライブの使用量
Unused Space	ハードドライブの未使用量
Status	録画の状態について表示されます。

NVR Info (NVR の詳細情報)

NVR についての詳細情報を表示、またはローカル GUI へリダイレクトします。



図 3-10 NVR Info 画面

本画面では以下の項目が表示されます。

項目	概要
Device Name	デバイス名が表示されます。
mydlink No.	mydlink の識別番号が表示されます。
Model Name	デバイスのモデル名が表示されます。
MAC Address	デバイスの MAC アドレスが表示されます。
NVR activated on	NVR の起動日について表示します。
Advanced Setting	NVR について詳細設定を行います。お使いのブラウザから直接 NVR の Web GUI に繋がり、詳細な設定を行うことができます。表示させるには PC、端末が同じネットワークで接続されている必要があります。

mydlink View - NVR (NVR アプリ)

「mydlink View - NVR」というアプリを使用して、スマートフォンやタブレットから mydlink へアクセスすることができます。「mydlink View - NVR」アプリをダウンロードした後、自身の「mydlink」アカウントへアクセスします。登録済みの「DNR-312L」をリストから選択し、接続カメラの映像にアクセスします。



図 3-11 mydlink View - NVR 画面

本アプリではライブ映像の確認、録画映像の視聴、手動での録画などを行うことができます。

注意事項

- iOS 6.0.0、または Android 4.01 以上の OS を搭載の端末が必要です。
- 事前にお使いの NVR が mydlink へ追加されている必要があります。
- 本アプリではライブ映像の確認、録画映像の視聴、手動での録画などを行うことができます。

mydlink への追加 /My Devices (mydlink View)

「mydlink View - NVR」アプリを起動後、お使いの NVR が「My Device」リストに表示されます。NVR を選択すると NVR に接続のカメラのライブ映像や録画などを視聴できます。

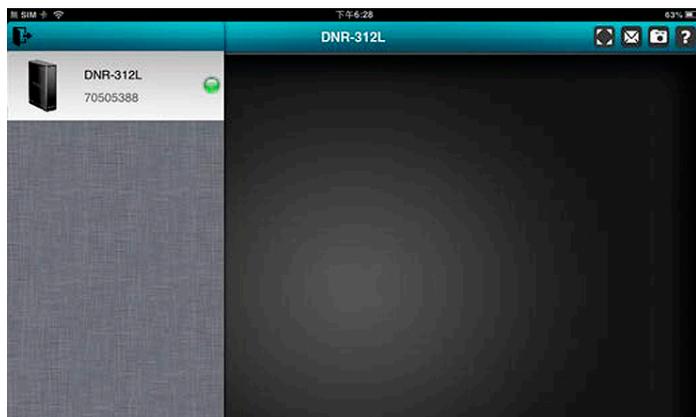


図 3-12 mydlink View - NVR (My Device) 画面

注意 通常の mydlink アクセス同様、事前にお使いの NVR が mydlink へ追加されている必要があります。

ライブ映像 (mydlink View)

「My Device」でNVRを選択するとNVRに接続のカメラのライブ映像（分割画面）が表示されます。

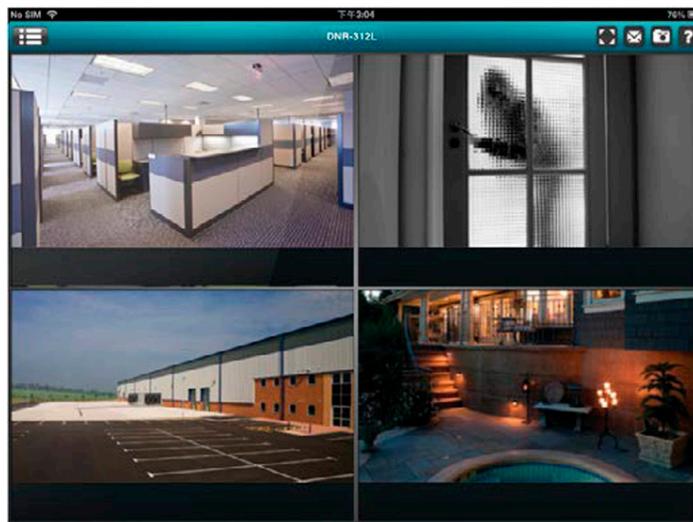


図 3-13 ライブ映像_分割画面 (mydlink View) 画面

注意 分割画面の一つをダブルタップすることで選択した画面は全画面表示（単一画面）され、再度ダブルタップすると分割画面に戻ります。

注意 スマートフォンなどの端末の場合、メイン画面にデバイスリスト（端末リスト）が表示され、お使いのNVRをタップすることで接続します。タブレットなどの端末の場合、画面の拡大/縮小が可能で、画面左側に表示されたデバイスリストからお使いのNVRを選択します。

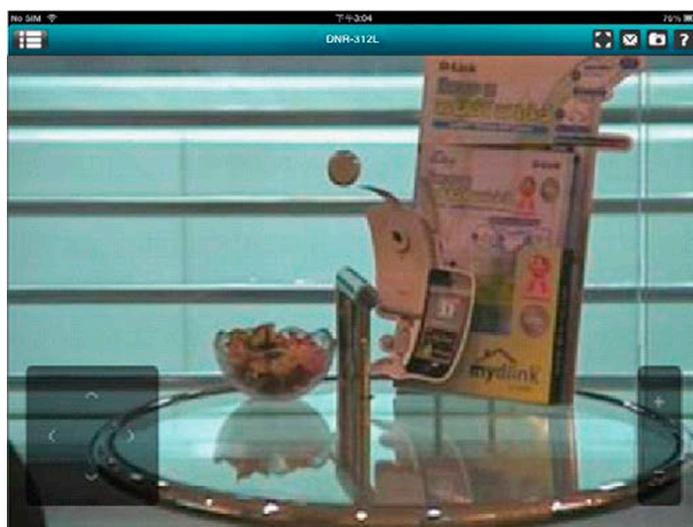


図 3-13 ライブ映像_単一画面 (mydlink View) 画面

チャンネル選択

- 単一画面の場合、画面をスワイプするだけでNVRに接続してある他のカメラの画面に移動することができます。
- 画面をダブルタップすると分割画面と単一画面を切り替えることができます。
- 「My Device」ボタンをタップすると mydlink アカウントのデバイスリストへ戻ります。

パン&チルト&ズーム (PTZ)

PTZを行うには単一画面の時に2本指でタップするとPTZ用のコントローラが表示されます。再度、2本指でタップするとPTZ用コントローラは消去されます。

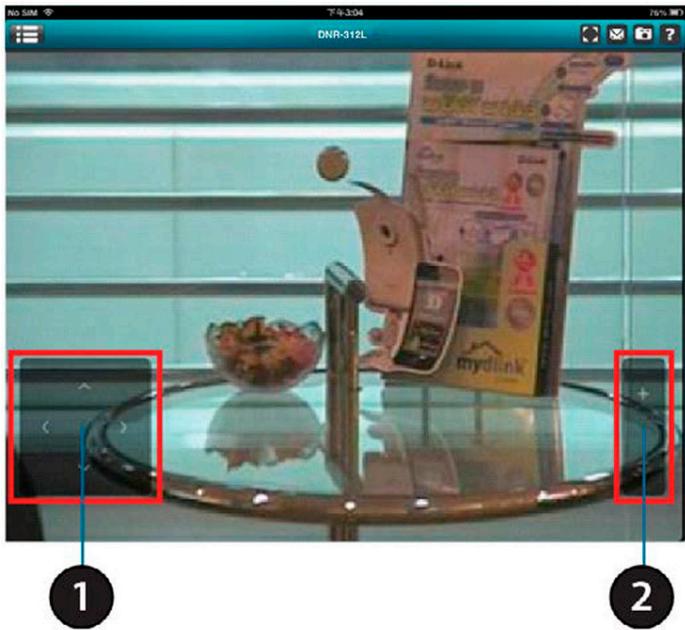


図 3-14 ライブ映像_単一画面 (PTZ) (mydlink View) 画面

注意 パン&チルト&ズーム (PTZ) は接続しているカメラの機能として備わっている必要があります。

	概要
①	パン&チルトを行うコントローラです。
②	ズームを行うコントローラです。

各機能アイコン

ライブ映像 (mydlink View) 画面の右上には機能アイコンがあります。各アイコンについて説明します。



図 3-15 機能アイコン (mydlink View) 画面

本画面では以下の項目が表示されます。

アイコン	名称	概要
	全画面表示	タップすると映像が全画面表示されます。再度タップすると通常の画面に戻ります。元々の映像のアスペクト比から変更されることがあります。
	スナップショット	単一画面の時にスナップショットボタンをタップするとスナップショット撮影を行います。画面は保存されます。分割画面の時にスナップショットボタンをタップすると表示されている全チャンネルのスナップショット撮影を行います。画面は保存されます。撮影されたスナップショットは元々のIPカメラの解像度と同じになります。
	E-mail	単一画面時にタップするとスナップショットの撮影を行い、画像をE-mailに貼付します。「To」「Cc」「Bcc」の項目を入力し、「Send」をタップすると添付画像をE-Mailできます。「Cancel」をタップすると送信をキャンセルします。分割画面時にタップすると表示されている全チャンネルのスナップショットの撮影を行い、画像をE-mailに貼付します。「To」「Cc」「Bcc」の項目を入力し、「Send」をタップすると添付画像をE-Mailできます。「Cancel」をタップすると送信をキャンセルします。

ビデオ再生 (mydlink View)

ビデオ再生は単一画面の時にのみ実行できます。「再生パネル」ボタンをタップし再生パネルを表示します。再生パネルで映像データリストを確認、日付を選択するなどし「Play」をタップし再生します。

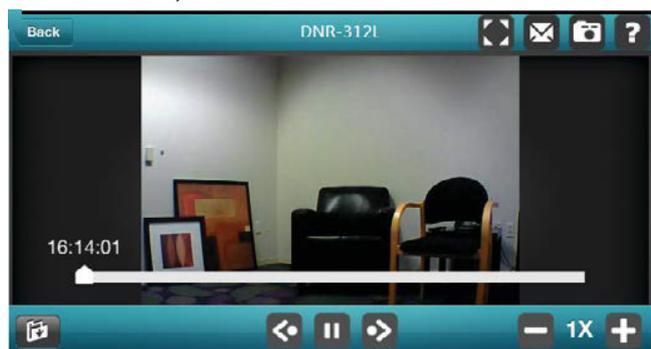


図 3-16 ビデオ再生画面 (mydlink View) 画面



図 3-17 再生パネル (mydlink View) 画面

本画面では以下の項目が表示されます。

アイコン	名称	概要
	コントローラ	コントローラを使用して再生画像をコントロールします。
	再生パネル	タップして再生パネルを表示します。
	巻き戻し	映像を一秒前に戻します。
	一時停止	一時停止ボタンです。一時停止後再度タップすると再生します。
	先送り	映像を一秒先へ送ります。
	スピード変更	再生スピードを変更します。1倍(通常)から32倍速まで対応しています。

第4章 Web ベース設定ユーティリティ

- 初回接続時の基本設定
- Web マネージャのメニュー構成
- Live Video (ライブ映像)
- Playback (録画再生)
- NVR の基本設定 (メニューバー)
- Wizard (セットアップウィザード)
- Setup (詳細設定)
- Camera Search (カメラ検索)
- Album (アルバム)
- Backup (バックアップ)
- Help (ヘルプ)

初回接続時の基本設定

Web ユーティリティへのログイン

Web ユーティリティを使用して、初めて本製品を設定する方法について説明します。

1. 設定ユーティリティに接続するためには、CD-ROM に同梱されている「NVR Search Utility」にて検索された NVR をダブルクリックするか、Web ブラウザ (Internet Explorer のみ) を開き、本製品の IP アドレスを入力します。

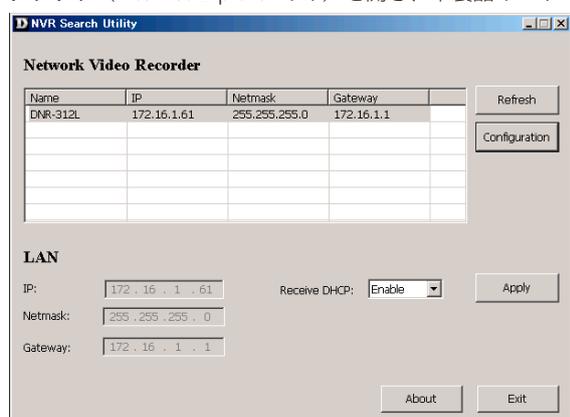


図 4-1 NVR Search Utility 画面



図 4-2 URL の入力画面

注意 工場出荷時設定では IP アドレスは DHCP から割り当てられるようになっています。そのため、セットアップウィザード時に設定した IP アドレス、サブネットマスクを控えておいてください。

2. ログイン画面が表示されます。

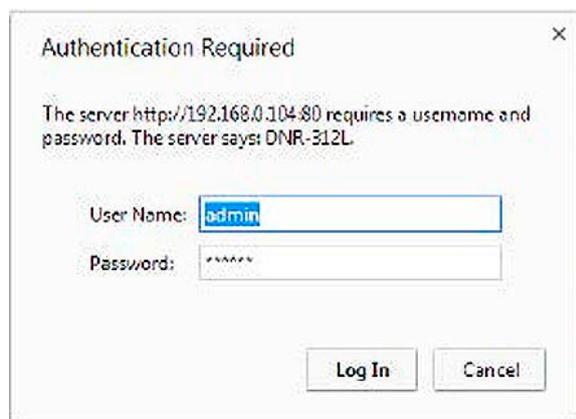


図 4-3 ログイン画面

「User Name」に「admin」と入力し、「セットアップウィザード」で指定した「Password」を入力後ログインします。

注意 NVR をテレビやモニタに HDMI で接続し、NVR の USB ポートにマウスを接続することにより、それらのインタフェースで管理することも可能です。

Web マネージャのメニュー構成

Web マネージャのメイン画面について説明します。

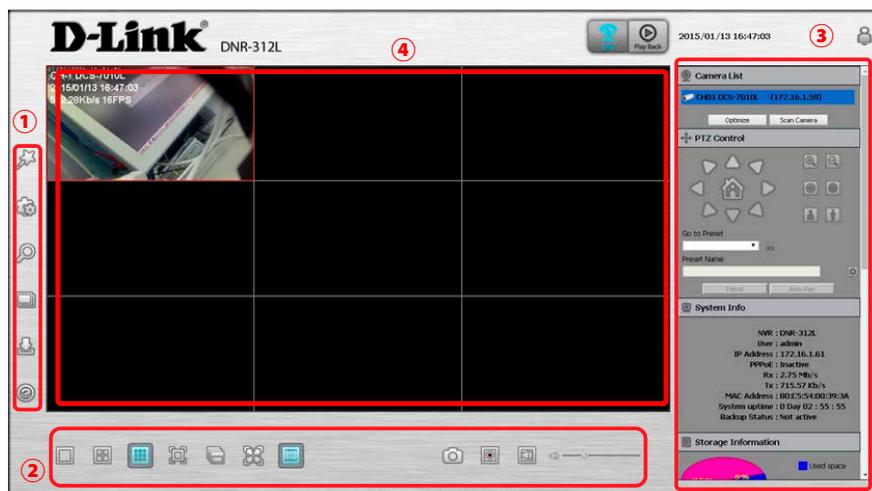


図 4-4 Web マネージャメイン画面

Web マネージャのメイン画面には以下の項目があります。

メニュー	説明
①	「メニューバー」：NVR の全般的な設定項目です。
②	「表示設定バー」：ライブ映像や録画再生時の表示に関する設定項目です。
③	「詳細設定バー」：ライブ映像や録画再生時の詳細設定や機能、表示に関する項目です。
④	「表示画面」：ライブ映像や録画再生の映像を表示します。
	ライブ映像ボタン： ネットワークカメラのライブ映像の表示および PTZ 機能のコントロールを行います。
	録画再生ボタン： 録画映像の表示およびスナップショットまたは映像のエクスポートを行います。
	ログアウトボタン： NVR からログアウトします。
	シャットダウンボタン： NVR をシャットダウンします。

注意 「Active X」に関する注意が表示される場合は、[「付録 A よくお問い合わせいただく質問 \(FAQ\)」](#)を参照してください。

Live Video (ライブ映像)

「Live Video」では表示中の接続しているネットワークカメラの設定やライブ映像を確認できます。

「Live Video」へのネットワークカメラの追加、表示には幾つかの手順があります。

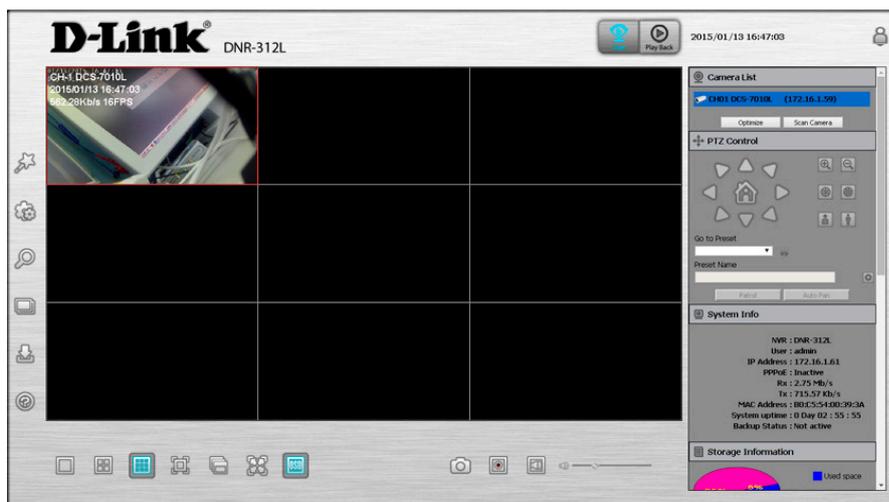


図 4-5 Web マネージャ画面 (Live Video)

ネットワークカメラ映像の表示方法

1. 「Live」ボタンをクリックします。
2. 画面右の「Camera List」から視聴するネットワークカメラを、表示画面へドラッグ&ドロップします。
3. 分割画面の場合、カメラ表示画面をさらにドラッグ&ドロップすることで、表示画面を移動させることが可能です。

注意 選択したカメラは赤いラインで囲まれ表示されます。

注意 各カメラが対応している機能のみ、設定、使用することが可能です。

表示設定バーについて (ライブ映像)

ライブ映像画面の表示設定バーについて説明します。

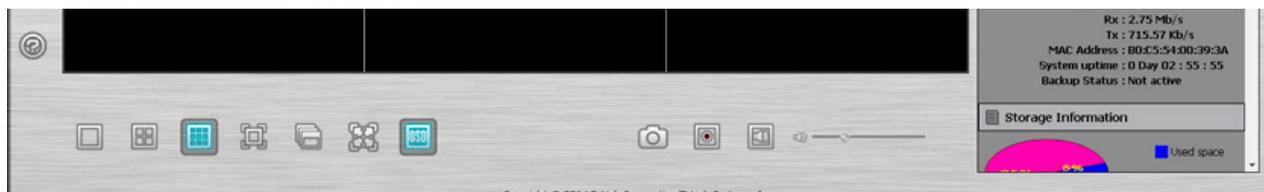


図 4-6 ライブ映像画面 (表示設定バー)

ライブ映像画面の表示設定バーには以下の項目があります。カメラによっては非対応の機能もあります。

メニュー	説明
	単一画面：表示映像を単一で表示します。
	2×2画面：表示映像を2×2で表示します。
	3×3画面：表示映像を3×3で表示します。
	全画面表示：表示映像を全画面で表示します。キーボード「ESC」ボタンで通常表示に変わります。
	実画面表示：表示映像を実際の画面サイズで表示します。

メニュー	説明
	情報表示：映像についての情報を表示します。
	スナップショット：クリックでスナップショットを撮ります。
	手動録画：手動で映像を録画します。
	スピーカー：スピーカーをオン/オフにします。
	マイク：マイクをオン/オフにします。

詳細設定バーについて（ライブ映像）

ライブ映像画面の詳細設定バーについて説明します。

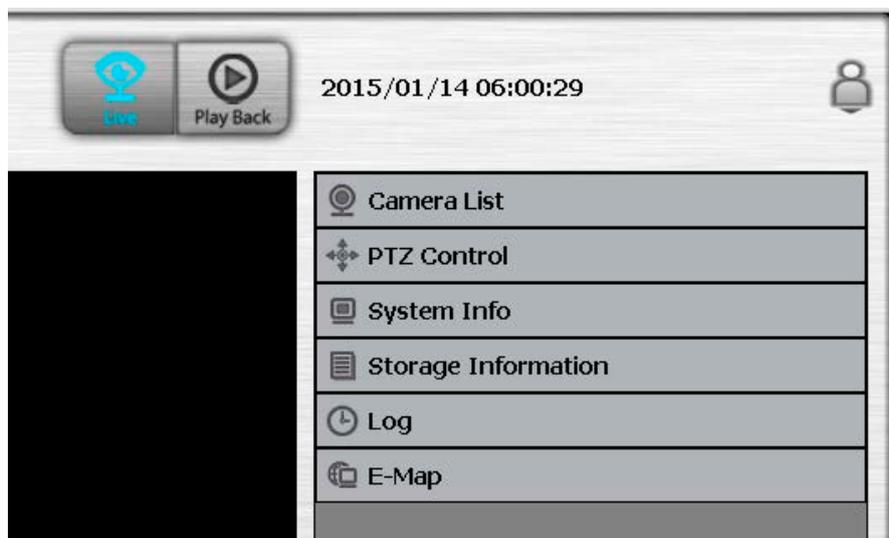


図 4-7 ライブ映像画面（詳細設定バー）

ライブ映像画面の詳細設定バーには以下の項目があります。カメラによっては存在しない機能もあります。

Camera List (カメラリスト)

NVRに接続中のカメラとそのIPアドレスを表示します。

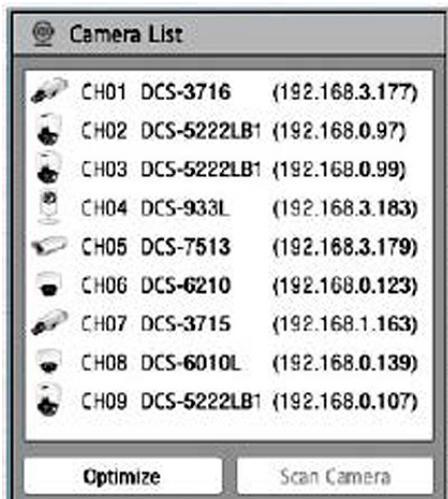


図 4-8 詳細設定バー画面 (カメラリスト)

概要	
Optimize	リスト内のカメラの映像設定を最適化します。
Scan Camera	NVRと同じネットワーク内のカメラを検出し自動的に追加します。

PTZ Control (パン & チルトコントロール)

カメラのパン&チルト、ズームを行うコントローラです。カメラがこれらの機能に対応している必要があります。



図 4-9 詳細設定バー画面 (パン&チルトコントロール)

コントローラを使用してカメラを希望の方向へ動かすことが可能です。その他「プリセット設定」「ズームイン/アウト」「オート/マニュアルフォーカス」「広角/狭角」「パトロール」「オートパン」等の機能があります。使用するにはカメラがこれらの機能に対応している必要があります。

System Info (システム情報)

NVRの情報について表示されます。「NVR名」「ユーザ名」「IPアドレス」「PPPoE」「送受信」「MACアドレス」などが表示されます。

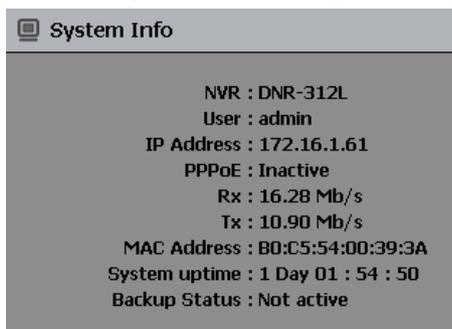


図 4-10 詳細設定バー画面 (システム情報)

Storage Information (ストレージ情報)

NVRのストレージ情報について表示されます。「HDD 総量」「残量」「使用量」などが表示されます。

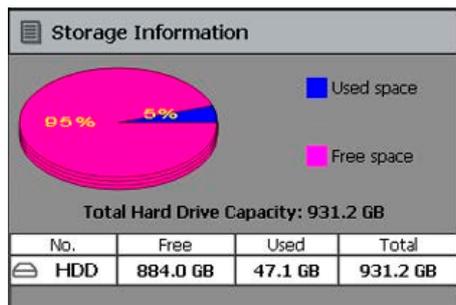


図 4-11 詳細設定バー画面 (ストレージ情報)

Log (ログ)

NVRのログ情報について表示されます。「システムログ」「NVR ログ」「イベントログ」などが表示されます。

Date	Time	Info
2015/01/14	06:17:34	admin login Ok from 172.16.1.1
2015/01/14	05:13:03	admin login Ok from 172.16.1.1
2015/01/14	13:54:41	system set to new time 2015-01-14 13:54:41
2015/01/14	11:32:42	camera device 172.16.1.70 added
2015/01/14	11:22:27	admin login Ok from 172.16.1.1
2015/01/14	10:53:51	admin login Ok from 172.16.1.1
2015/01/13	18:10:28	network set to DHCP.
2015/01/13	18:10:24	system machine name set to NVR
2015/01/13	18:10:24	system set to new time zone Asia/Tokyo
2015/01/13	18:07:58	admin login Ok from 172.16.1.1

図 4-12 詳細設定バー画面 (ログ情報)

E-Map (E-マップ)

設定済みのE-マップについて表示します。E-マップはメニューバーの設定項目から設定することが可能です。

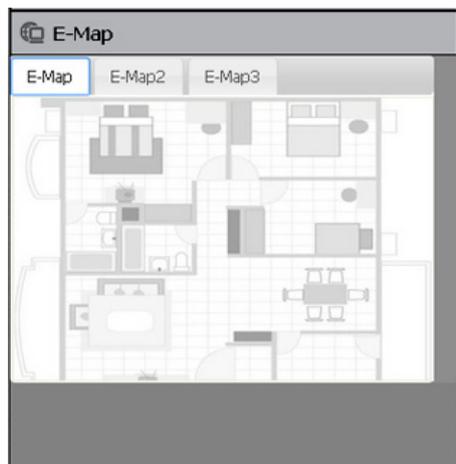


図 4-11 詳細設定バー画面 (ログ情報)

その他各機能の操作方法

- EPTZ：表示映像の上で右クリック⇒「Enable EPTZ」をクリックします。(対応機器のみ)
- 音声：表示映像の上で右クリック⇒「Enable Audio」をクリックします。(対応機器のみ)
- スナップショット：表示映像の上で右クリック⇒「snapshot」をクリックすると撮影できます。(対応機器のみ)
- 全画面表示：表示映像の上で右クリック⇒「Full Screen」を選択。キーボード「ESC」ボタンで通常表示に変わります。
- スワップ：表示映像の上で右クリック⇒「Swap」を選択。表示画面を違うチャンネル画面に変更します。

注意 各カメラが対応している機能のみ、設定、使用することが可能です。

Playback（録画再生）

「Playback」ではNVRに保存した録画映像の再生を行います。映像の調整、エクスポートなどを行うことも可能です。

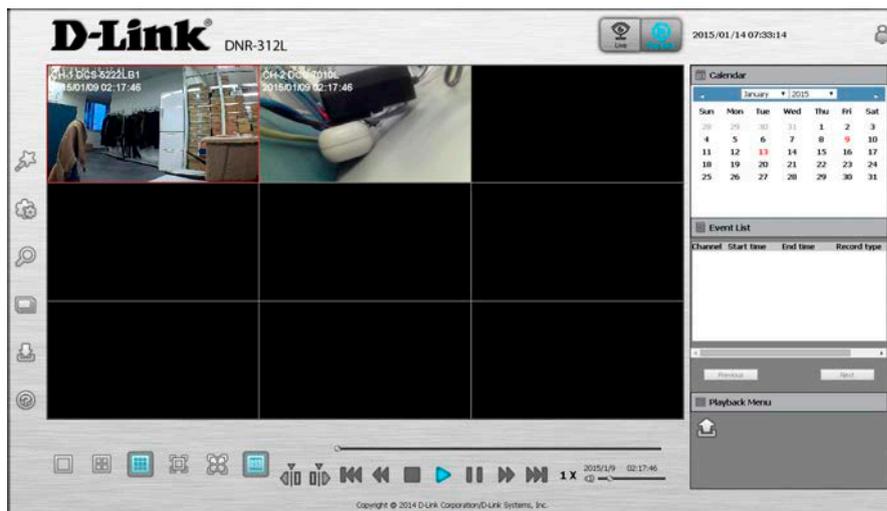


図 4-12 Web マネージャ画面（Playback）

表示設定バーについて（録画再生）

録画映像画面の表示設定バーについて説明します。



図 4-13 録画再生画面（表示設定バー）

録画再生画面には以下の項目があります。

メニュー	説明
	単一画面：表示映像を単一で表示します。
	2 × 2 画面：表示映像を 2 × 2 で表示します。
	3 × 3 画面：表示映像を 3 × 3 で表示します。
	全画面表示：表示映像を全画面で表示します。キーボード「ESC」ボタンで通常表示に変わります。
	実画面表示：表示映像を実際の画面サイズで表示します。
	情報表示：映像についての情報を表示します。
	再生 / 停止 / 一時停止：再生中の映像をクリックで再生 / 停止 / 一時停止します。
	スピード：再生スピードを変更します。
	キューイン / アウト：エクスポートする録画映像の一定期間をキューイン / アウトのフラグを立てます。フラグに基づいてその期間の動画をエクスポートできます。
	巻き戻し / 早送り：巻き戻し、早送りをします。

メニュー	説明
	プログレスバー：指定のポイントの表示時間の映像を表示させます。
	音量調整：スライダで音量を調整します。

詳細設定バーについて（録画再生）

録画再生画面の詳細設定バーについて説明します。

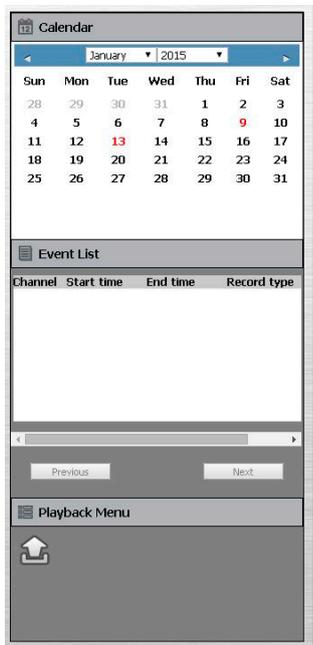


図 4-14 録画再生画面（詳細設定バー）

Calendar（カレンダー）

撮影された日付を表示したカレンダーです。赤字の日付が撮影日になります。

撮影日をクリックすると「View Recorded File（録画検索）」が表示され、表示に関する設定を行うことができます。

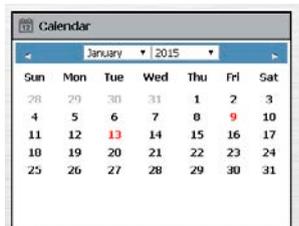


図 4-15 録画再生画面（カレンダー）

Event List（イベントリスト）

発生したイベントのリストになります。



図 4-16 録画再生画面（イベントリスト）

Playback Menu（再生メニュー）

再生メニューです。「Export」ボタンをクリックし、表示設定バーの「キューイン/アウト」で設定したキューの期間の動画をエクスポートできます。



図 4-17 録画再生画面（再生メニュー）

録画映像の再生方法（録画映像の検索）

録画映像の再生方法について説明します。

1. 右側の「詳細設定バー」にある「Calendar」から撮影日（赤字）をクリックします。



図 4-18 録画再生画面（カレンダー）

2. 撮影日をクリックすると「View Recorded File（録画検索）」が表示されます。

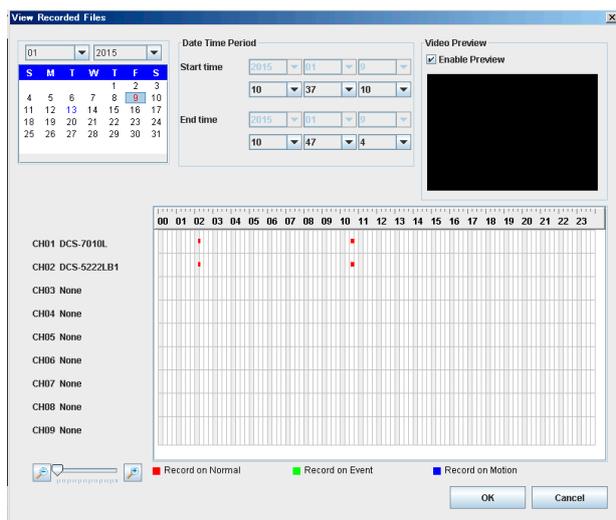


図 4-19 Web マネージャ画面（Playback）

3. 「View Recorded File」では再生する日付、時間帯、チャンネルなどの詳細を指定を行います。ここで指定した範囲の映像が録画再生として、「Playback」の表示画面に表示されます。「Video Preview」では再生する映像のプレビューが行えます。
4. 指定後、「OK」をクリックすると、「表示画面」に指定の日時、時間帯の映像が表示されます。

NVRの基本設定（メニューバー）

Web マネージャー左側の「メニューバー」では NVR に関する基本的な設定を行うことが可能です。各アイコンをクリックして設定を行います。



図 4-20 メニューバー画面

メニューバーには以下の項目があります。

メニュー	説明
	Wizard（セットアップウィザード）： 「セットアップウィザード」の開始ボタンです。NVR の基本設定について設定することが可能です。
	Setup（詳細設定）： NVR の詳細設定を行います。
	Camera Serch（カメラ検索）： ネットワーク内のカメラを検索します。
	Album（スナップショットアルバム）： スナップショットで撮影した静止画のアルバムです。
	Backup（バックアップ）： NVR から接続している USB ドライブ、サーバ、FTP サーバなどへのバックアップの設定を行います。
	Help（ヘルプ）： NVR に関するヘルプ事項をまとめています。

Wizard (セットアップウィザード)

NVRのセットアップウィザードではNVRの基本設定(「パスワード設定」「タイムゾーン設定」「LAN接続設定」「デバイス情報設定」)を行うことができます。



セットアップウィザードアイコン

注意 「Skip」で設定項目をスキップ、「Exit」でセットアップウィザードの中止、「Back」で前の設定項目へ戻ることができます。

1. 表示したい言語を選択し「Next」をクリックします。



図 4-21 セットアップウィザード画面 (Web)

2. 既存のパスワードを入力し、新しいパスワード (確認用パスワード) を入力後、「Next」をクリックします。



図 4-22 パスワード設定画面 (セットアップウィザード)

3. お住まいの地域のタイムゾーンを選択し「Next」をクリックします。

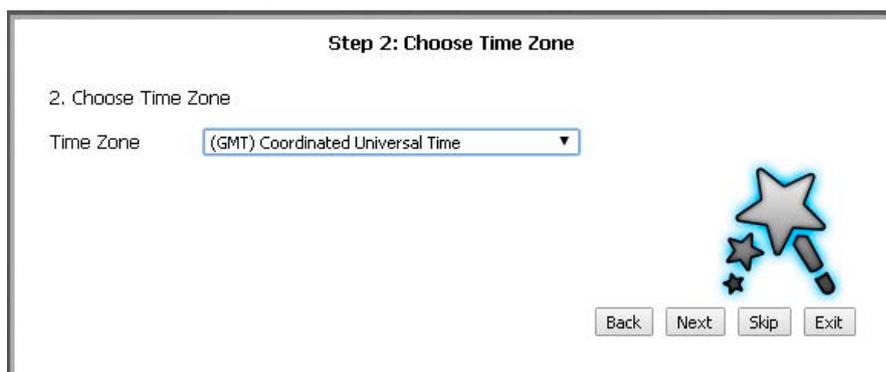


図 4-23 タイムゾーン設定画面 (セットアップウィザード)

4. LAN 接続の種類と設定項目を指定し「Next」をクリックします。

Step 3: Set LAN connection Type

3. Set LAN Connection Type

DHCP
 Static IP

IP Address:
 Subnet Mask:
 Gateway:
 DNS1:
 DNS2:

Enable DHCP Server:
 DHCP IP Address Range: to
 DHCP Lease Time: (Hour)



図 4-24 LAN 接続設定画面（セットアップウィザード）

LAN 接続設定には以下の項目があります。

項目	概要
DHCP	DHCP サーバから IP アドレスを取得します。
Static IP	固定の IP アドレスを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • IP Address - 指定する IP アドレスを入力します。 • Subnet Mask - 指定するサブネットマスクを入力します。 • Gateway - 指定するゲートウェイを入力します。 • DNS1 - プライマリ DNS サーバを入力します。 • DNS2 - セカンダリ DNS サーバを入力します。
Enable DHCP Server	チェックを入れると NVR の DHCP サーバ機能が有効になります。(Static IP 設定時のみ) <ul style="list-style-type: none"> • DHCP IP Address Range - DHCP で割り振る IP アドレスの範囲を指定します。 • DHCP Lease Time - IP アドレスを貸与する時間を指定します。

5. NVR のデバイス名と概要を指定します。「Next」をクリックします。

Step 4: Set Device Information

4. Set Device Name

Name:
 Description:



図 4-25 機器情報設定画面（セットアップウィザード）

6. 「セットアップウィザード」は終了です。設定内容が表示されるので確認し、「Finish」をクリックします。



図 4-26 セットアップウィザード終了画面

Setup (詳細設定)

メニューバーで「Setup (詳細設定)」アイコンをクリックし、NVRの詳細設定を行います。NVRの詳細設定ではNVRのさまざまな設定を行うことができます。



詳細設定アイコン

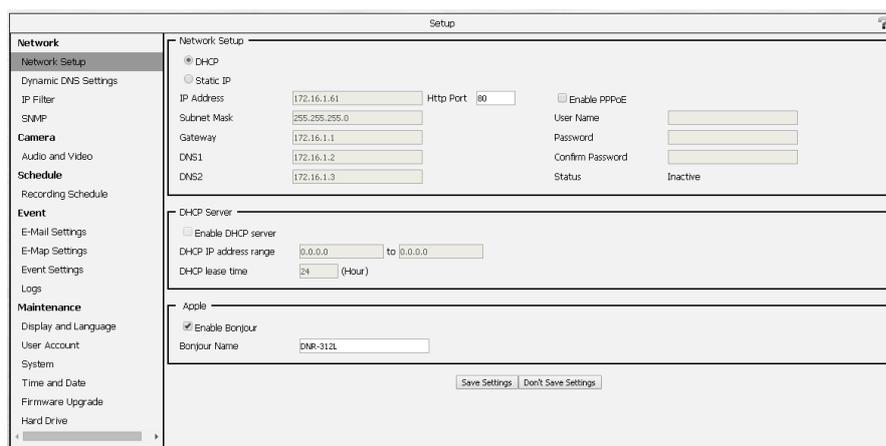


図 4-27 ネットワーク設定画面

Network (ネットワーク設定)

NVR のネットワークに関する詳細設定を行います。

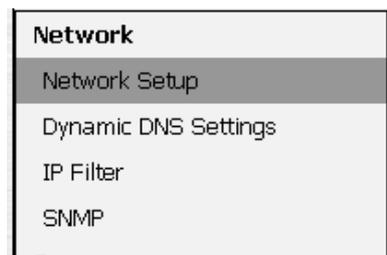


図 4-28 ネットワーク設定画面 (設定項目)

Network Setup (ネットワークセットアップ)

ネットワークに関する基本的な設定を行います。

The screenshot shows the 'Network Setup' configuration page. It is divided into three main sections:

- Network Setup:** Includes radio buttons for 'DHCP' (selected) and 'Static IP'. Fields for IP Address (172.16.1.61), Subnet Mask (255.255.255.0), Gateway (172.16.1.1), DNS1 (172.16.1.2), and DNS2 (172.16.1.3). There is also an 'Http Port' field set to 80 and an 'Enable PPPoE' checkbox. For PPPoE, there are fields for 'User Name', 'Password', and 'Confirm Password', and a 'Status' field set to 'Inactive'.
- DHCP Server:** Includes an 'Enable DHCP server' checkbox. Fields for 'DHCP IP address range' (0.0.0.0 to 0.0.0.0) and 'DHCP lease time' (24 Hour).
- Apple:** Includes an 'Enable Bonjour' checkbox and a 'Bonjour Name' field set to 'DNR-312L'.

At the bottom, there are 'Save Settings' and 'Don't Save Settings' buttons.

図 4-29 ネットワークセットアップ画面

以下の項目があります。

項目	説明
Network Setup	
DHCP	DHCP サーバから IP アドレスを取得します。 (DHCP サーバがネットワーク内にある場合)
Static IP	固定の IP アドレスを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> IP Address - 指定する IP アドレスを入力します。 Subnet Mask - 指定するサブネットマスクを入力します。 Gateway - 指定するゲートウェイを入力します。 DNS1 - プライマリ DNS サーバを入力します。 DNS2 - セカンダリ DNS サーバを入力します。
HTTP Port	HTTP ポートを指定します。
Enable PPPoE	チェックを入れ PPPoE を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> User Name - PPPoE のユーザ名を入力します。 Password - PPPoE パスワードを入力します。 Confirm Password - PPPoE パスワード (確認) を入力します。 Status - 現在の PPPoE の接続状態です。
DHCP Server	
Enable DHCP Server	チェックを入れると NVR の DHCP サーバ機能が有効になります。(Static IP 設定時のみ) <ul style="list-style-type: none"> DHCP IP Address Range - DHCP で割り振る IP アドレスの範囲を指定します。 DHCP Lease Time - IP アドレスを貸与する時間を指定します。
Apple	
Enable Bonjour	チェックを入れ「Bonjour」を有効にします。 <ul style="list-style-type: none"> Bonjour Name - ボンジュール名を指定します。

「Save Settings」をクリックして指定した内容を保存します。

「Don't Save Settings」をクリックすると変更した内容は破棄されます。

Dynamic DNS Settings (ダイナミック DNS 設定)

DNS 設定を行います。

図 4-30 ダイナミック DNS 設定画面

以下の項目があります。

項目	説明
Dynamic DNS	ダイナミック DNS を有効 / 無効にします。
Server address	DNS サーバを入力します。 「Select Dynamic DNS Server」から DNS サーバを選択することも可能です。
Host Name	ホスト名を入力します。
User Name	ユーザ名を入力します。
Password	パスワードを入力します。
Confirm Password	パスワード (確認用) を入力します。
Timeout(Hour)	タイムアウト (時間切れ) の時間を入力します。
Status	現在の DNS の状況です。

「Save Settings」をクリックして指定した内容を保存します。

「Don't Save Settings」をクリックすると変更した内容は破棄されます。

IP Filter (IP フィルタ設定)

IP フィルタを有効にすることで IP アドレスで NVR へのアクセスを許可 / 拒否することができます。

「Allowed (許可)」または「Blocked (拒否)」リストに IP アドレスを追加するには許可 / 拒否する IP アドレスの範囲を入力し、「Add」をクリックすることでどちらかのリストに IP アドレス範囲を入力します。

図 4-31 IP フィルタ設定画面

以下の項目があります。

項目	説明
Enable allowed list / Enable blocked list	チェックを入れ「Allowed (許可)」または「Blocked (拒否)」リストを有効にします。 <ul style="list-style-type: none"> Enable allowed list - 「Allowed (許可)」リストを有効にします。 Enable blocked list - 「Blocked (拒否)」リストを有効にします。
192.168.100.101 to 192.168.100.200	IP アドレスの範囲を指定します。

項目	説明
Add Allowed list / Add blocked list	上記に入力した IP アドレスの範囲を Allowed (許可) または「Blocked (拒否)」リストに追加します。 <ul style="list-style-type: none"> Add Allowed list - 「Allowed (許可)」リストに追加します。 Add blocked list - 「Blocked (拒否)」リストに追加します。
Delete	リスト内の IP 範囲を削除します。
Access	IP 範囲の種類、「Allowed (許可)」または「Blocked (拒否)」を表示します。
IP Range	IP 範囲を表示します。

「Save Settings」をクリックして指定した内容を保存します。

「Don't Save Settings」をクリックすると変更した内容は破棄されます。

SNMP (SNMP 設定)

NVR の SNMP 設定を行います。

図 4-32 SNMP 設定画面

以下の項目があります。

項目	説明
Enable SNMPv1, SNMPv2c	チェックを入れ「SNMPv1」「SNMPv2c」を有効にします。 <ul style="list-style-type: none"> Read/Write community - SNMP によるアクセスが読み書き可能であるコミュニティ名を設定します。 Read only community - SNMP によるアクセスが読み出し専用であるコミュニティ名を設定します。
Enable SNMPv3	チェックを入れ「SNMPv3」を有効にします。 <ul style="list-style-type: none"> Read/Write security name - SNMP によるアクセスが読み書き可能であるセキュリティ名を設定します。 Authentication type - 認証タイプを指定します「SHA」「MD5」から指定します。 Authentication password - 認証パスワードを指定します。 Encryption password - 暗号パスワードを指定します。 Read only security name - SNMP によるアクセスが読み出し専用であるセキュリティ名を設定します。 Authentication type - 認証タイプを指定します「SHA」「MD5」から指定します。 Authentication password - 認証パスワードを指定します。 Encryption password - 暗号パスワードを指定します。

「Save Settings」をクリックして指定した内容を保存します。

「Don't Save Settings」をクリックすると変更した内容は破棄されます。

Camera (カメラ設定)

カメラについて設定します。

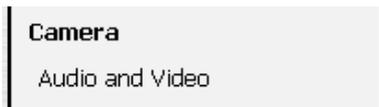


図 4-33 カメラ設定画面 (設定項目)

Audio and Video (音声と映像設定)

NVR に接続している各カメラの音声、映像、画像について設定します。

上部のカメラリストから設定するカメラを選択し、下部の「Video (映像)」「Audio (音声)」「Image (画像)」の設定を行います。

「Video」(映像) タブ

Channel	Camera Name	Address	Vendor	Model
CH01	DCS-7010L	172.16.1.59	D-Link	DCS-7010L
CH02	DCS-5222LB1	172.16.1.70	D-Link	DCS-5222LB1
CH03	None			
CH04	None			
CH05	None			
CH06	None			
CH07	None			
CH08	None			
CH09	None			

Audio and Video Parameters

Video Audio Image

Camera Name DCS-7010L

Main Profile Sub Profile

Video Format MJPEG MPEG4 H.264 Video Format MJPEG MPEG4 H.264

Frame Rate Frame Rate

Resolution Resolution

Bitrate Quality

Bitrate Quality

Save Settings Don't Save Settings

図 4-34 音声と映像設定 (映像タブ) 画面 (カメラ設定)

音声と映像設定 (映像タブ) には以下の項目があります。

項目	説明
Main Profile	<p>プロファイル番号を指定して、メインプロファイルの設定をします。</p> <ul style="list-style-type: none"> Video Format：映像フォーマットを指定します。「MJPEG」「MPEG4」「H.264」から指定できます。 Frame Rate：映像のフォーマットを指定します。 Resolution：映像の解像度を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> Bitrate：解像度をビットレートで指定します。 Quality：解像度を画質で指定します。
Sub Profile	<p>プロファイル番号を指定して、サブプロファイルの設定をします。</p> <ul style="list-style-type: none"> Video Format：映像フォーマットを指定します。「MJPEG」「MPEG4」「H.264」から指定できます。 Frame Rate：映像のフォーマットを指定します。 Resolution：映像の解像度を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> Bitrate：解像度をビットレートで指定します。 Quality：解像度を画質で指定します。

「Save Settings」をクリックして指定した内容を保存します。

「Don't Save Settings」をクリックすると変更した内容は破棄されます。

「Audio」(音声) タブ

Channel	Camera Name	Address	Vendor	Model
CH01	DCS-7010L	172.16.1.59	D-Link	DCS-7010L
CH02	DCS-5222LB1	172.16.1.70	D-Link	DCS-5222LB1
CH03	None			
CH04	None			
CH05	None			
CH06	None			
CH07	None			
CH08	None			
CH09	None			

Audio and Video Parameters

Video Audio Image

Camera Name DCS-7010L

Audio format G711 G726 AAC

Enable Microphone

Audio in gain level 2 ▼

Enable Speaker

Audio out volume level 10 ▼

Save Settings Don't Save Settings

図 4-35 音声と映像設定 (音声タブ) 画面 (カメラ設定)

音声と映像設定 (音声タブ) には以下の項目があります。

項目	説明
Audio format	音声ファイルのフォーマットをします。「G711」「G726」「AAC」から指定します。
Enable Microphone	チェックを入れマイクを有効します。
Audio in gain level	マイク音声のゲイン値 (音量) を指定します。
Enable Speaker	チェックを入れスピーカを有効します。
Audio out volume level	スピーカの音量を指定します。

「Save Settings」をクリックして指定した内容を保存します。

「Don't Save Settings」をクリックすると変更した内容は破棄されます。

「Image」(画像) タブ

Channel	Camera Name	Address	Vendor	Model
CH01	DCS-7010L	172.16.1.59	D-Link	DCS-7010L
CH02	DCS-5222LB1	172.16.1.70	D-Link	DCS-5222LB1
CH03	None			
CH04	None			
CH05	None			
CH06	None			
CH07	None			
CH08	None			
CH09	None			

Audio and Video Parameters

Video Audio **Image**

Camera Name DCS-7010L

Brightness 4 ▼

Contrast 4 ▼

Saturation 128 ▼

Sharpness 4 ▼

Camera Preview



Save Settings Don't Save Settings

図 4-36 音声と映像設定 (画像タブ) 画面 (カメラ設定)

音声と映像設定 (音声タブ) には以下の項目があります。

項目	説明
Brightness	映像の明るさを指定します。
Contrast	映像のコントラストを指定します。
Saturation	映像の彩度を指定します。
Sharpness	映像のシャープさを指定します。
Camera Preview	映像のプレビューを表示します。

「Save Settings」をクリックして指定した内容を保存します。

「Don't Save Settings」をクリックすると変更した内容は破棄されます。

Schedule (スケジュール設定)

録画スケジュールについて設定します。

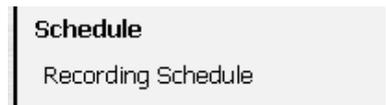


図 4-33 スケジュール設定画面 (設定項目)

Recording Schedule (録画スケジュール設定)

カメラがセットアップされると継続録画、または特定の時間帯のみの録画など高度なスケジュール設定が可能になります。各カメラに事前に設定された期間に独自に録画をするよう設定できます。また指定のトリガを条件に録画を開始するイベント録画を設定することも可能です。また HDD のデータ領域が切迫してきたとき、録画を止めずに自動的に古いデータを上書きするという設定や、HDD の可能領域内で数日間継続的に録画をするなどといった設定も可能です。

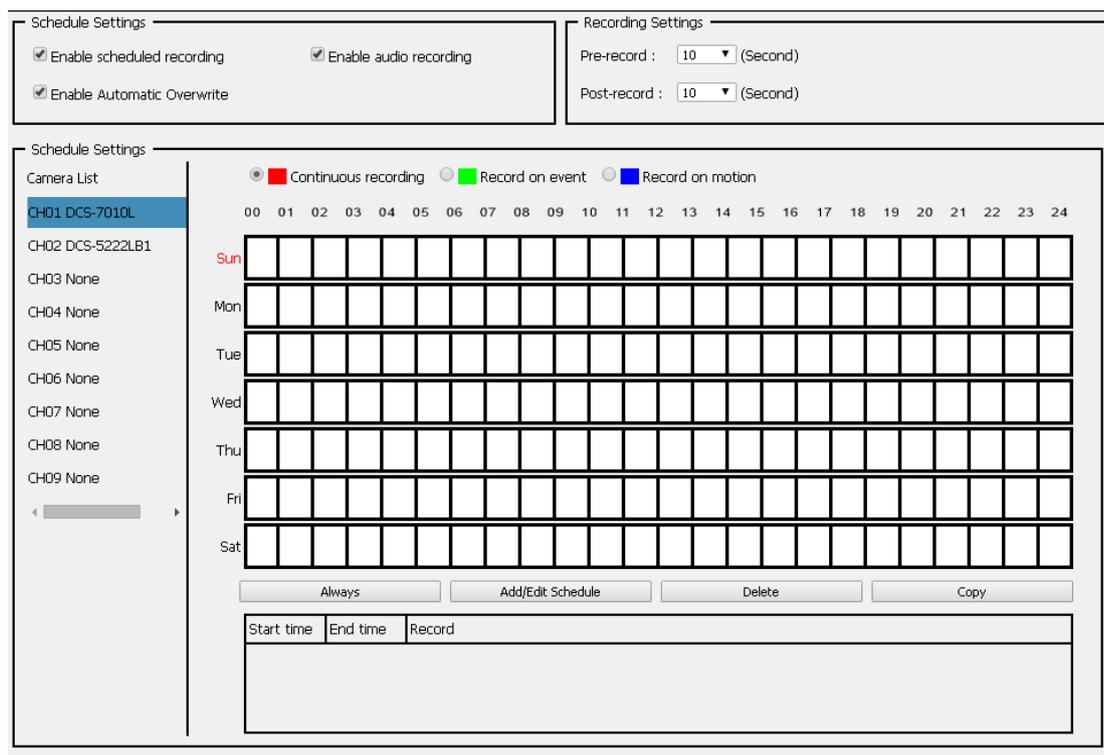


図 4-37 録画スケジュール設定画面 (スケジュール設定)

以下の項目があります。

項目	説明
Schedule Settings (スケジュール設定)	
	スケジュール録画 / 録音、自動上書き有効にします。 <ul style="list-style-type: none"> Enable scheduled recording - チェックを入れスケジュール録画を有効にします。 Enable audio recording - チェックを入れスケジュール録音を有効にします。 Enable Automatic Overwrite - チェックを入れ自動上書き機能を有効にします。
Recording Settings (録画設定)	
	スケジュール録画時に録画開始時間の数秒前から / 数秒後まで録画を行う設定です。 <ul style="list-style-type: none"> Pre-record: スケジュール前録画の時間を指定します。 Post-record: スケジュール後録画の時間を指定します。
Schedule Settings (スケジュール内)	
Camera List	設定するカメラを選択します。
	<ul style="list-style-type: none"> Continuous recording - チェックを入れ継続録画の時間帯を指定します。 Record on event - チェックを入れイベント録画の時間帯を指定します。 Record on motion - チェックを入れ動体検知録画の時間帯を指定します。 Always Record: スケジュールをすべて継続録画に指定します。 Add/Edit Schedule: スケジュールを追加、編集します。次の項目で説明します。 Delete Schedule: スケジュールを削除します。 Copy Schedule: 既存のスケジュールをコピーします。

「Save Settings」をクリックして指定した内容を保存します。

「Don't Save Settings」をクリックすると変更した内容は破棄されます。

録画スケジュール設定手順

録画スケジュールの設定手順を説明します。

1. カメラリストにあるカメラを一つ選択肢、「Add/Edit Schedule」をクリックします。下記の画面が表示されます。

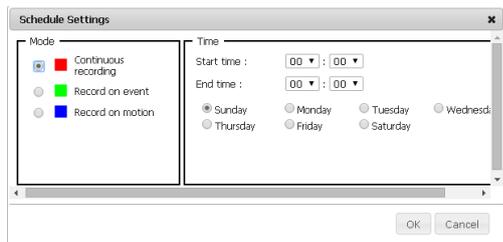


図 4-38 Add/Edit Schedule 画面（スケジュール設定）

2. 録画モードを選択します。「Continuous Recording（継続録画）」「Record on event（イベント録画）」「Record on motion（動作検知録画）」
3. 「Start time（開始時間）」「End time（終了時間）」と有効にする曜日を指定します。
4. 「OK」をクリックしスケジュールを保存します。

注意 「Motion Detection（動作検知）」などはカメラが対応している必要があります。

注意 「Motion Detection（動作検知）」設定後、NVR とカメラを一度切断し、再度接続する必要があります。

注意 録画期間の変更、設定は表示されているタイムテーブルの該当箇所をドラッグし設定することもできます。その際はタイムテーブルの「Continuous Recording」「Record on event」「Record on motion」にチェックを入れ、当該のモードでの動作をドラッグした期間指定することが可能です。

注意 DCS-4603、DCS-4703E に対する動体検知機能の設定はサポートしていません。

Event（イベント設定）

録画スケジュールについて設定します。

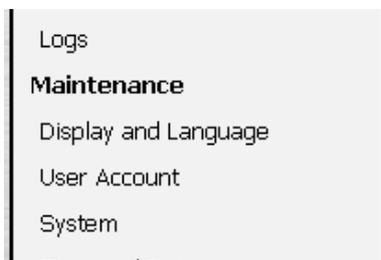


図 4-39 イベント設定画面（設定項目）

E-Mail Settings (Eメール設定)

動体検知や HDD の不具合などのイベント発生時に E メールで通知を受けることができます。

図 4-40 Eメール設定画面 (イベント設定)

以下の項目があります。

項目	説明
SMTP Settings	SMTP の設定を行います。 <ul style="list-style-type: none"> • Sender email address - 送信者アドレスを指定します。 • Server address - SMTP サーバアドレスを指定します。 • User name - ユーザ名を指定します。 • Password - パスワードを指定します。 • Port - ポートを指定します。 • This server requires a secure connection (StartTLS) : サーバへの接続にセキュリティを設定します。 • Test - 設定内容が有効かテストメールを送信します。
Contact	Eメールを送信する宛先を追加します。 <ul style="list-style-type: none"> • User name - 宛先の名前を指定します。 • Email Address - 宛先の E メールアドレスを指定します。 • Add - 入力した宛先をリストに追加します。

「Save Settings」をクリックして指定した内容を保存します。

「Don't Save Settings」をクリックすると変更した内容は破棄されます。

E-Map Settings (E マップ設定)

E マップではカメラの設置環境を地図にして表示することができます。 イベント発生時に E マップ上でイベント発生の場所を特定することができます。 設置環境の地図を 20KB 以内の BMP か JPG ファイルで E マップとして、NVR へアップロードします。 アップロード後、カメラアイコンをドラッグ&ドロップで E マップ上の設置場所に配置します。

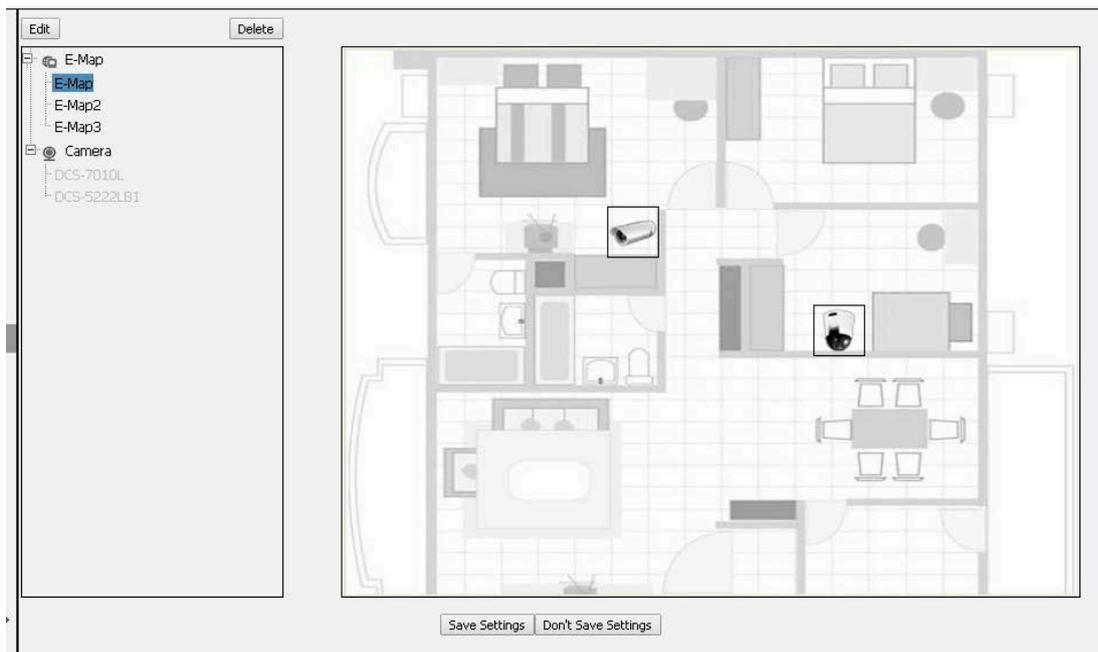


図 4-41 E マップ設定画面 (イベント設定)

以下の項目があります。

項目	説明
E-Map	登録済みの E マップです。選択した E マップが表示されます。
Camera	接続済みのカメラです。カメラ名をドラッグ&ドロップすることで E マップにカメラアイコンを配置します。
Edit	Edit をクリックしお使いの端末から E マップ用の地図画像をアップロードします。
Delete	選択した配置済みのカメラアイコンをいったん削除します。削除したアイコンは再度配置することが可能です。

「Save Settings」 をクリックして指定した内容を保存します。

「Don't Save Settings」 をクリックすると変更した内容は破棄されます。

Event Settings (イベント設定)

本項目では動体検知などトリガとなるイベントの設定とその際のNVRの動作を設定します。「E-mail Settings」で設定した宛先名と宛先アドレスが表示され、Eメール通知はそれらの宛先に送信されます。

図 4-42 イベント設定画面 (イベント設定)

以下の項目があります。

項目	説明
Camera Event Settings (カメライベント設定)	
CH01 - CH09	設定する各カメラのチャンネルタブです。
Event	トリガとなるカメラ関連イベントです。 <ul style="list-style-type: none"> Connection Lost - 接続消失時にアクションを発動します。 Motion Detected - 動作検知時にアクションを発動します。 Digital Input - 信号電圧がしきい値を超えた、または下回った時にアクションを発動します。
Event Action	トリガとなるイベント発生時に発動するアクションです。 <ul style="list-style-type: none"> Buzzer - 警告ブザーが鳴ります。 E-Map - E マップ上のカメラのステータスが更新されます。 E-Mail - E メールが送信されます。
Copy	カメライベント設定内容を他のチャンネルタブにもコピーします。コピーするチャンネルを選択し「OK」をクリックします。すべてにチャンネルに適用する場合は「Select All」にチェックを入れます。
System Event Settings (システムイベント設定)	
Event	トリガとなるシステム関連イベントです。 <ul style="list-style-type: none"> Hard Disk Space Full - HDD の空き容量が不足時にアクションを発動します。 Hard Disk Error - HDD エラー発生時にアクションを発動します。 Fan Error - ファンエラー発生時にアクションを発動します。 Network Disconnected - ネットワーク切断時にアクションを発動します。
Event Action	トリガとなるイベント発生時に発動するアクションです。 <ul style="list-style-type: none"> Buzzer - 警告ブザーが鳴ります。 E-Mail - E メールが送信されます。

「Save Settings」をクリックして指定した内容を保存します。

「Don't Save Settings」をクリックすると変更した内容は破棄されます。



DCS-4603、DCS-4703E に対する動体検知機能の設定はサポートしていません。

Log (ログ設定)

ログ機能はシステム、NVR、イベントに関するログ情報を表示します。各ログの詳細情報を確認と、外部 USB にバックアップファイルとしてダウンロードできます。

The screenshot displays three log sections: System Log, NVR Log, and Event Log. Each section contains a table of log entries and navigation controls.

Date	Time	Info
2015/01/16	06:56:34	admin login Ok from 172.16.1.43.
2015/01/16	06:44:47	admin login Ok from 172.16.1.43.
2015/01/16	06:30:23	admin login Ok from 172.16.1.43.
2015/01/16	06:08:06	admin login Ok from 172.16.1.43.
2015/01/16	05:39:12	admin login Ok from 172.16.1.43.
2015/01/16	05:17:36	admin login Ok from 172.16.1.43.
2015/01/16	04:57:45	admin login Ok from 172.16.1.43.
2015/01/16	04:18:31	hdd mounted successfully.

Date	Time	Info
2015/01/16	04:18:42	ntp update success.
2015/01/16	02:42:46	camera device 172.16.1.70 stream stop on ch 2.
2015/01/16	01:28:57	camera device 172.16.1.70 stream stop on ch 2.
2015/01/16	00:53:59	camera device 172.16.1.70 stream stop on ch 2.
2015/01/16	09:21:48	ntp update success.
2015/01/15	10:42:14	camera device 172.16.1.70 stream stop on ch 2.
2015/01/15	10:42:12	camera device 172.16.1.59 stream stop on ch 1.
2015/01/15	00:16:51	ntp update success.

Date	Time	Info
2015/01/16	02:42:50	camera device 172.16.1.70 is loss on ch 2.
2015/01/16	01:29:24	camera device 172.16.1.70 is connected on ch 2.
2015/01/16	01:28:59	camera device 172.16.1.70 is loss on ch 2.
2015/01/16	01:26:37	camera device 172.16.1.70 is connected on ch 2.
2015/01/16	00:54:04	camera device 172.16.1.70 is loss on ch 2.
2015/01/14	10:59:46	camera device 172.16.1.70 is connected on ch 2.
2015/01/14	08:37:42	camera device 172.16.1.70 is loss on ch 2.

図 4-43 ログ設定画面 (イベント設定)

以下の項目があります。

項目	説明
System Log	システムログ情報を表示します。
NVR Log	NVR ログ情報を表示します。
Event Log	イベントログ情報を表示します。
Download / Clear	<ul style="list-style-type: none"> Download - 各ログ情報をテキストファイルでダウンロードします。 Clear - 各ログ情報をクリアします。

Maintenance (メンテナンス)

NVRのメンテナンスについて説明します。言語設定、OSD、ユーザアカウント管理、日時設定、ファーム更新およびHDDのマネジメントを行います。

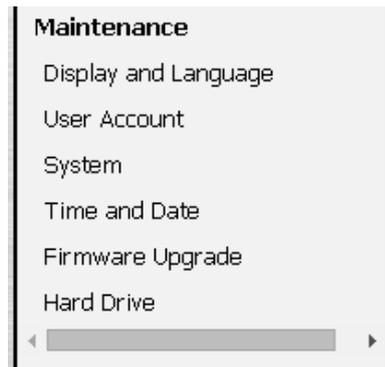


図 4-44 メンテナンス画面 (設定項目)

Display and Language (表示 / 言語設定)

NVRの表示情報、言語について設定します。

図 4-45 表示 / 言語設定画面 (メンテナンス)

以下の項目があります。

項目	説明
Language	表示する言語を選択します。
Display	表示するデバイス名と自動スキャンの間隔を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> Device Name - 表示するデバイス名 Auto scan interval - 自動スキャンの間隔 (秒)
OSD	表示画面に表示するカメラ情報 (OSD) の内容を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> Enable camera OSD - チェックを入れ OSD の表示を有効にします。 Camera Name - チェックを入れ OSD にカメラ名を表示します。 Camera Number - チェックを入れ OSD カメラ番号を表示します。 Date - チェックを入れ OSD に日付表示します。 Time - チェックを入れ OSD に時間を表示します。 Bit Rate - チェックを入れ OSD にビットレートを表示します。 Frame Rate - チェックを入れ OSD にフレームレートを表示します。 Size - OSD に表示する情報のサイズを指定します。 Color - OSD に表示するカメラの色を指定します。

「Save Settings」をクリックして指定した内容を保存します。

「Don't Save Settings」をクリックすると変更した内容は破棄されます。

User Account (ユーザアカウント設定)

NVR のユーザアカウントについて設定します。ユーザアカウントを作成し NVR へのアクセスと設定権限について設定します。

User Name	Live privileges	Playback privileges	Miscellaneous
admin	<input checked="" type="checkbox"/> CH01 <input checked="" type="checkbox"/> CH02 <input checked="" type="checkbox"/> CH03 <input checked="" type="checkbox"/> CH04 <input checked="" type="checkbox"/> CH05 <input checked="" type="checkbox"/> CH06 <input checked="" type="checkbox"/> CH07 <input checked="" type="checkbox"/> CH08 <input checked="" type="checkbox"/> CH09 <input checked="" type="checkbox"/> PTZ Control	<input checked="" type="checkbox"/> CH01 <input checked="" type="checkbox"/> CH02 <input checked="" type="checkbox"/> CH03 <input checked="" type="checkbox"/> CH04 <input checked="" type="checkbox"/> CH05 <input checked="" type="checkbox"/> CH06 <input checked="" type="checkbox"/> CH07 <input checked="" type="checkbox"/> CH08 <input checked="" type="checkbox"/> CH09 <input checked="" type="checkbox"/> Export	<input checked="" type="checkbox"/> Setup <input checked="" type="checkbox"/> Manual backup <input checked="" type="checkbox"/> Speaker

Buttons: Add, Delete, Save Settings, Don't Save Settings

図 4-46 ユーザアカウント設定画面 (メンテナンス)

以下の項目があります。

項目	説明
User Name	登録されているユーザ名が表示されます。 選択したユーザに対する権限を下記で指定します。チェックを入れた権限がユーザに付与されます。
Live privileges	ライブ映像表示時の権限について指定します。 <ul style="list-style-type: none"> CH01 - CH09 - 表示できるチャンネルの権限です。 PTZ Control - パン&チルトを実行する権限です。
Playback privileges	録画再生時の権限について指定します。 <ul style="list-style-type: none"> CH01 - CH09 - 表示できるチャンネルの権限です。 Export - 録画映像をエクスポートできる権限です。
Miscellaneous	その他設定事項の権限について指定します。 <ul style="list-style-type: none"> Setup - セットアップを行う権限です。 Manual backup - 手動バックアップを行う権限です。 Speaker - スピーカ設定を行う権限です。
Add / Delete	<ul style="list-style-type: none"> Add - クリックして新しいユーザアカウントを作成します。表示されたダイアログにユーザ名、パスワード、確認用パスワードを記入して「Add」をクリックすると新規ユーザアカウントが作成されます。 Delete - 選択したユーザを削除します。

「Save Settings」をクリックして指定した内容を保存します。

「Don't Save Settings」をクリックすると変更した内容は破棄されます。

新規ユーザアカウントの追加手順

ユーザアカウントの追加と既存のアカウントの編集手順です。

1. 「Add」をクリックするとダイアログが表示されます。既存のアカウントを編集する場合は「User Name」にあるアカウントを選択します。
2. 「ユーザ名」を入力します。
3. 「パスワード」を確認用と合わせて2度入力し、「Add」をクリックします。
4. 「Live privileges」「Playback privileges」「Miscellaneous」でそれぞれ付与する権限にチェックを入れます。
5. 「Save Settings」をクリックし設定を保存します。

注意 管理者用アカウント (Admin) は全ての NVR 機能と設定を実行でき、削除することはできません。

注意 初期値では「Admin」のパスワードは空欄です。まず最初にこのパスワードを指定することをお勧めします。

注意 管理者パスワードを紛失した場合、底面のリセットボタンで NVR を工場出荷値へリセットします。リセットすると全ての設定事項はクリアされます。

System (システム設定)

NVRのシステム関連の設定を行います。設定ファイルの保存/リストア、再起動、リセットなどを行います。

図 4-47 システム設定画面 (メンテナンス)

以下の項目があります。

項目	説明
System Restart	NVR を再起動します。「Restart」をクリックします。
Restore To Factory Default Settings	NVR をリセットします。NVR のすべての設定は工場出荷値に戻ります。「Restore」をクリックします。
Save Configuration Settings	NVR の設定内容を「設定ファイル」として保存します。「cfg」ファイルで管理用端末にダウンロードされます。
Load Configuration Settings	設定ファイルの内容を NVR に適用します。「ファイルを選択」で「設定ファイル (cfg)」を指定し、「Load」をクリックします。
Idle time(Minutes)	設定中の管理者がアイドル状態 (動作しない状態) になった時のログアウトするまでの長さ (分) を指定します。設定時間を超えると自動的にログアウトします。「ライブ映像」と「録画再生」の時はこの設定は適用されません。
Buzzer	トリガイベント発生時に発する警報音を有効 / 無効にします。
Enable Auto Plugin	自動プラグインを有効 / 無効にします。本機能を有効にすると自動的に接続カメラを検出します。

「Save Settings」をクリックして指定した内容を保存します。

「Don't Save Settings」をクリックすると変更した内容は破棄されます。

Time and Date (時間 / 日付設定)

NVR の時間と日付の設定を行います。

図 4-48 時間 / 日付設定画面 (メンテナンス)

以下の項目があります。

項目	説明
Time and Date	NVR の日付を時間を指定します。「NTP Server」が有効時には指定できません。 「Set Time From My Computer」をクリックすると管理用端末の日時設定と同期します。 <ul style="list-style-type: none"> • Date - 日付を指定します。 • Time - 時間を指定します。
NTP Server	「Synchronize with NTP Server」 - チェックするとネットワーク内の NTP サーバと同期して時間を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • NTP Server - 「<< Select NTP Server」で選択した NTP サーバが表示されます。 • 「<< Select NTP Server」 - ネットワーク内の NTP サーバを選択、指定します。
Time Zone	ドロップダウンメニューからタイムゾーンを指定します。
Daylight Saving Time	「Enable Daylight Saving」 - チェックを入れるとサマータイムを導入します。 <ul style="list-style-type: none"> • Auto Daylight Saving - 自動的にサマータイムに移行します。 • Daylight Saving Time has been manually set - 手でサマータイムへの移行日時を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • Start Time - サマータイムの開始日時を指定します。 • End Time - サマータイムの終了日時を指定します。 • Offset - サマータイムのオフセットを指定します。

「Save Settings」をクリックして指定した内容を保存します。

「Don't Save Settings」をクリックすると変更した内容は破棄されます。

Firmware Upgrade (ファームウェア更新)

本項目でファームウェアとデバイスパックのアップグレードを行います。

「ファイルを選択」をクリック、ファームウェアファイルを指定し「Load」をクリックしファームウェアを更新します。D-Linkのサポートページでファームウェアを確認してください。

図 4-49 ファームウェア更新画面 (メンテナンス)

以下の項目があります。

項目	説明
Agent Version	現在のエージェントバージョンです。
Current NVR Firmware Version	現在の NVR のファームウェアバージョンです。
Firmware Date	現在のファームウェアの日付です。
Current NVR Device Pack	現在の NVR のファームウェアバージョンです。
Device Pack Date	現在の NVR のデバイスパックバージョンです。
Firmware/ Device Pack Path	「ファームウェア」または「デバイスパック」を更新します。 「ファイルを選択」をクリック、ファームウェアファイルを指定し「Load」をクリックしファームウェアを更新します。

Hard Drive (ハードドライブ設定)

本項目でハードドライブと接続した USB ドライブの情報表示とフォーマットを行います。

フォーマットを行うとドライブ内のすべてのデータが失われます。

図 4-50 ハードドライブ設定画面 (メンテナンス)

以下の項目があります。

項目	説明
HDD/USB	ドライブの種類です。「HDD」か「USB」が表示されます。
Vendor	ドライブのベンダです。
Model	ドライブのモデル名です。
Size	ドライブの総容量です。
Format	クリックするとドライブをフォーマットします。 フォーマットを行うとドライブ内のすべてのデータが失われます。ご注意ください。 USB の場合フォーマット時にフォーマット形式を「FAT32」か「NTFS」で指定できます。
Eject	USB ドライブを外す時にクリックし、準備ができた後にドライブを外します。 「Eject」をクリックせずに USB を抜くとドライブ内のファイルが破損する場合があります。

Camera Search (カメラ検索)

カメラ検索機能により自動的にカメラを NVR に接続します。カメラに関する情報の表示や現在のプレビューなどを表示します。メニューバーで「詳細設定」アイコンをクリックし、NVR の詳細設定を行います。



カメラ検索アイコン

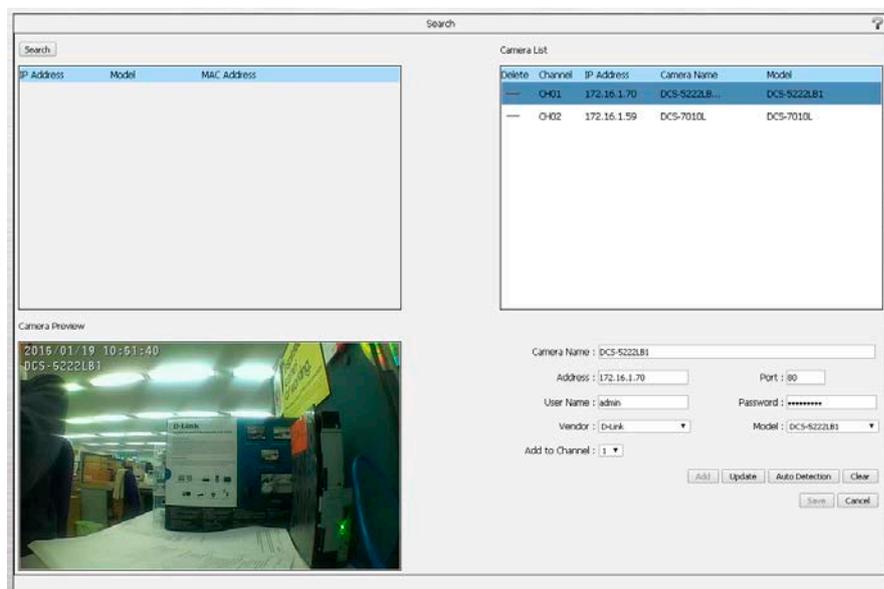


図 4-51 カメラ検索画面

以下の項目があります。

項目	説明
Serch	クリックすると NVR と同じネットワーク内のカメラを検索、検出します。赤字は登録済みの NVR です。
Camera List	追加済みのカメラリストになります。リスト下に選択したカメラの詳細情報が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> Camera Name - 選択したカメラ名です。 Address - 選択したカメラのアドレスです。 Port - 選択したカメラが接続しているポートになります。 User Name - 選択したカメラのユーザ名です。 Password - 選択したカメラのパスワードです。 Vendor - 選択したカメラの製造ベンダです。 Model - 選択したカメラのモデルです。 Add to Channel - 選択したカメラをチャンネル保存します。 「Add」- クリックすると検出したカメラをカメラリストに追加します。 「Update」- クリックすると選択したカメラを更新します。 「Auto Detection」- クリックすると選択したカメラを自動検出にします。 「Clear」- クリックすると選択したカメラに関する指定情報をクリアにします。
Camera Preview	<ul style="list-style-type: none"> 「Camera List」で選択済みのカメラのプレビューが表示されます。

「Save」をクリックして指定した内容を保存します。

「Cancel」をクリックすると変更した内容は破棄されます。

カメラ検索 & 登録の手順

「Serch」をクリックします。検出されたカメラのリストからカメラを選択し「Add」をクリックしてカメラリストにカメラを追加します。検出結果でカメラが赤字で表示されている場合、すでにそのカメラは追加済みです。

注意 カメラによっては管理者権しか許可されない場合もあります。

注意 初 UPoN 機能を有したカメラの追加には「Setup」メニューから IP アドレスを手動で設定します。

注意 UNOp リクエストへの返答に時間がかかり、ネットワーク内のカメラが一回の検索で検出されない場合があります。その場合、再度検索を試みてください。しか許可されない場合もあります。

Album (アルバム)

「ライブ映像」で撮影されたスナップショットの一覧を確認できます。画像のエクスポートや削除も本項目で行うことが可能です。



アルバムアイコン

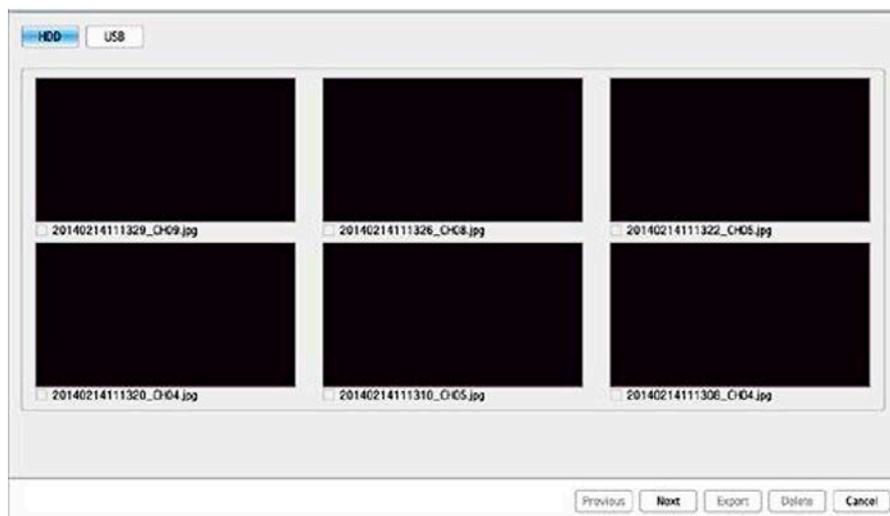


図 4-52 アルバム画面

以下の項目があります。

項目	説明
HDD/USB	画像を表示するドライブを選択します。

「Next/Previous」をクリックすると前後の画像に移動します。

「Export」をクリックすると選択した画像をエクスポートします。

「Delete」をクリックすると選択した画像を削除します。

「Cancel」をクリックすると変更した内容は破棄されます。

Backup (バックアップ)

「バックアップ」では選択した期間の記録映像をすべて保存します。「Auto Backup」タブで定期的なバックアップや「Manual Backup」タブで手動のバックアップの設定を行うことが可能です。



バックアップアイコン

図 4-53 バックアップ画面 (Auto Backup)

図 4-54 バックアップ画面 (Manual Backup)

以下の項目があります。

項目	説明
Auto backup (自動バックアップ) タブ	
Enable auto backup	チェックを入れ自動バックアップを有効にします。
Daily backup time	自動バックアップを開始する時間を指定します。
Start time	自動バックアップする録画映像の開始時間を指定します。
End time	自動バックアップする録画映像の終了時間を指定します。
Camera	自動バックアップするカメラ (チャンネル) を指定します。
Backup type	バックアップ先の指定をします。 <ul style="list-style-type: none"> USB - NVR に接続した USB ドライブにバックアップします。 Samba - Samba サーバにバックアップします。「Samba server (サーバ名/IP)」「Samba entry」(エントリ/フォルダ)「User Name」(ユーザ名)「Password」(パスワード)を設定します。 FTP - FTP サーバにバックアップします。「FTP server」(サーバ名/IP)「FTP port」(FTP ポート)「Folder」(フォルダ)「User Name」(ユーザ名)「Password」(パスワード)を設定します。
Stop	バックアップを停止します。
Manual backup (手動バックアップ) タブ	
Date	本日の日付です。
Start time	バックアップする録画映像の開始時間を指定します。

項目	説明
End time	バックアップする録画映像の終了時間を指定します。
Camera	バックアップするカメラ (チャンネル) を指定します。
Backup type	バックアップ先の指定をします。 <ul style="list-style-type: none"> USB - NVR に接続した USB ドライブにバックアップします。 Samba - Samba サーバにバックアップします。「Samba server (サーバ名 /IP)」「Samba entry」(エントリ/フォルダ)「User Name」(ユーザ名)「Password」(パスワード)を設定します。 FTP - FTP サーバにバックアップします。「FTP server」(サーバ名 /IP)「FTP port」(FTP ポート)「Folder」(フォルダ)「User Name」(ユーザ名)「Password」(パスワード)を設定します。
Start/Stop	バックアップを開始 / 停止します。

「Save Settings」をクリックして指定した内容を保存します。

「Don't Save Settings」をクリックすると変更した内容は破棄されます。

Help (ヘルプ)

NVR のヘルプページです。NVR に関する詳細事項について記載されています。



ヘルプアイコン

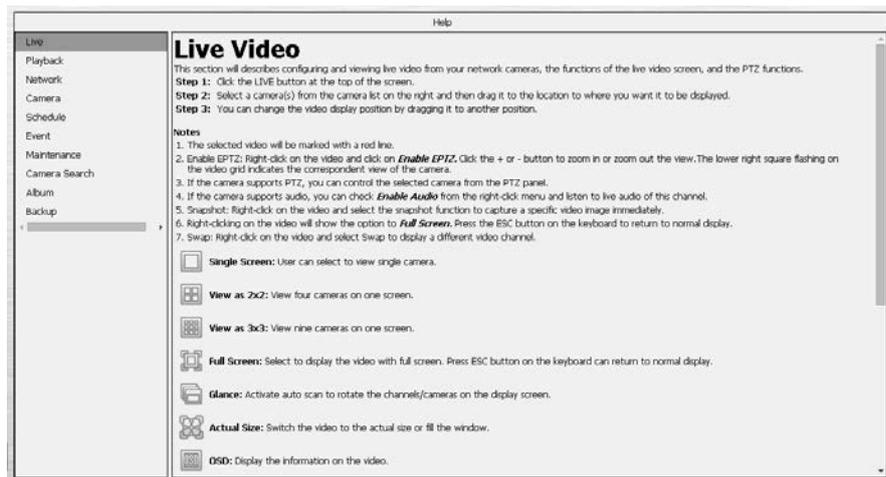


図 4-55 ヘルプ画面

以下の項目があります。

項目	説明
Help	「Live」「Playback」「Network」「Camera」「Schedule」「Event」「Maintenance」「Camera Search」「Album」「Backup」の項目について詳細情報が記載されています。

第5章 NVR アプリケーションによる設定・管理

本製品付属の CD-ROM に収録のアプリケーションを使用して、複数映像の視聴および再生を行います。
CD-ROM に収録の NVR アプリケーションをインストールすると、以下のアプリケーションがインストールされます。

必要に応じて、設定 / 変更 / 修正を行ってください。

アプリケーション	説明
NVR Search Utility (NVR 検索ユーティリティ)	ネットワーク上の NVR を検索します。
Playback Manager (プレイバックマネージャ)	映像の再生をします。
Remote Backup (リモートバックアップ)	録画映像のバックアップ、削除をします。
Verification Tool (データ検証ツール)	記録データの検証をします。

注意 各アプリケーションのインストールは、付属の CD-ROM のガイダンスに従い実行してください。

NVR Search Utility (NVR 検索ユーティリティ)

「NVR Search Utility」では接続したネットワーク内の NVR を検出し、DHCP モードや Static IP モードへの変更、固定 IP アドレスの設定、Web ユーティリティへの接続や NVR が DHCP 環境にない場合に一時的な IP アドレスの付与などを行うことが可能です。

NVR Search Utility のメニュー

初めて NVR の電源を入れると、初期化が行われ、DHCP 経由で IP アドレスが割り当てられるのを待ちます。DHCP による IP アドレスの割り当てを行わない場合は、初期状態で「192.168.0.xx」を割り当てます。初めて NVR にアクセスして設定を行う際には、製品付属の CD-ROM に収録の「D-Link NVR Search Utility」を使用することをお勧めします。ログインする前に IP アドレスを変更する場合、または NVR の IP アドレスに接続できない場合に、本ユーティリティを使用してネットワーク上の製品を検出し、必要な変更を行います。

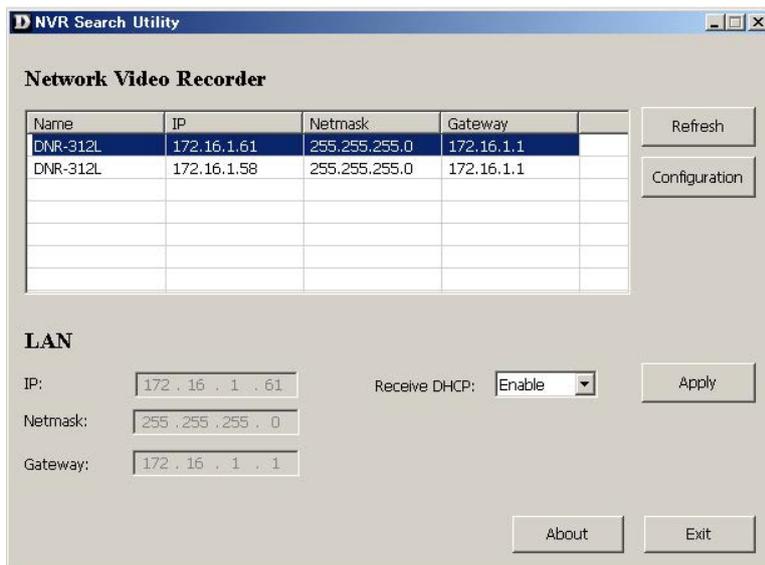


図 5-1 NVR Search Utility 画面

画面には以下の項目があります。

項目	説明
Refresh	最新の製品リストを表示します。
Configuration	Web ブラウザを開き、視聴、再生、および設定をします。
LAN	NVR の LAN 設定を行います。 <ul style="list-style-type: none"> Receive DHCP - NVR の DHCP モードを有効にします。無効にすると固定 IP モードになり「IP」「Netmask」「Gateway」の手動設定を行います。 「Apply」ボタンをクリックし、変更した LAN 設定を有効にします。

「About」で NVR のバージョン情報を表示します。

「Exit」でアプリケーションを終了します。

Playback Manager (プレイバックマネージャ)

録画映像の再生をします。

注意 プレイバックシステムコントロールパネルは「Web ベースユーティリティ」のプレイバックパネルと同様です。ボタンの詳しい内容については「[Playback \(録画再生\)](#)」を参照してください。

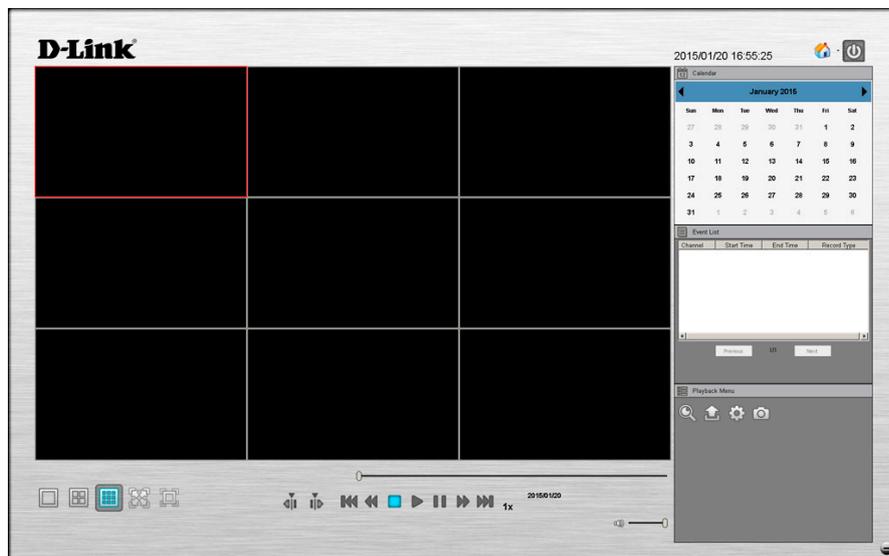


図 5-2 Playback Manager メイン画面

画面には以下の項目があります。

Playback Manager 画面には以下の項目があります。

メニュー	説明
	単一画面：表示映像を単一で表示します。
	2 × 2 画面：表示映像を 2 × 2 で表示します。
	3 × 3 画面：表示映像を 3 × 3 で表示します。
	全画面表示：表示映像を全画面で表示します。キーボード「ESC」ボタンで通常表示に変わります。
	実画面表示：表示映像を実際の画面サイズで表示します。
	情報表示：映像についての情報を表示します。
	再生 / 停止 / 一時停止：再生中の映像をクリックで再生 / 停止 / 一時停止します。
	スピード：再生スピードを変更します。
	キューイン/アウト：エクスポートする録画映像の一定期間をキューイン/アウトのフラグを立てます。フラグに基づいてその期間の動画をエクスポートできます。
	巻き戻し / 早送り：巻き戻し、早送りをします。
	プログレスバー：指定のポイントの表示時間の映像を表示させます。
	音量調整：スライダで音量を調整します。

Remote Backup (リモートバックアップ)

録画画像をアプリケーションを使用してバックアップします。

1. Windows の「スタート」 - 「すべてのプログラム」 - 「D-Link」 - 「DNR-312L」 - 「Remote Backup」の順にクリックして、「Remote Backup」を実行します。

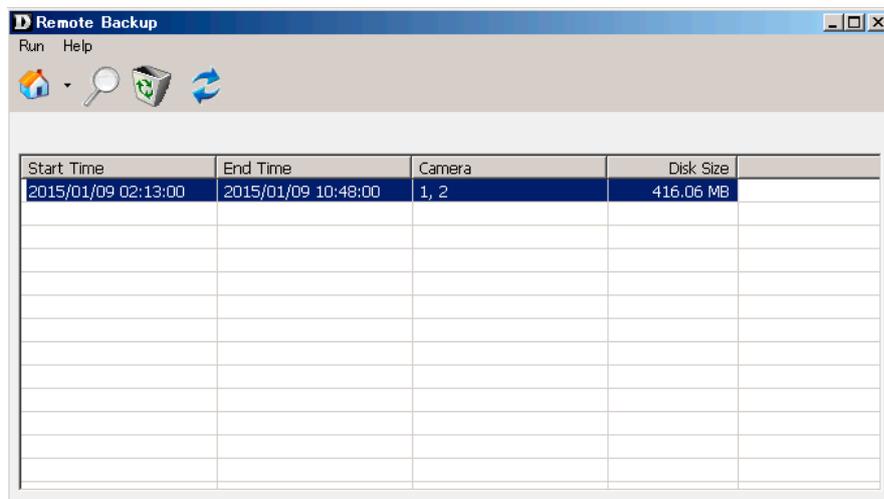


図 5-3 リモートバックアップ起動画面

2. 画面左上部の「」(Remote Server) をクリックし、「Remote Server Manager」を表示します。「IP アドレス」に NVR の IP アドレス、「User Name」にユーザ名、および「Password」にパスワードを入力し、「Add」ボタンをクリックし NVR を登録します。「Save Password」で入力したパスワードを保存、「Test Connection」で入力した情報での接続をテストできます。NVR の登録が終了後「OK」をクリックします。

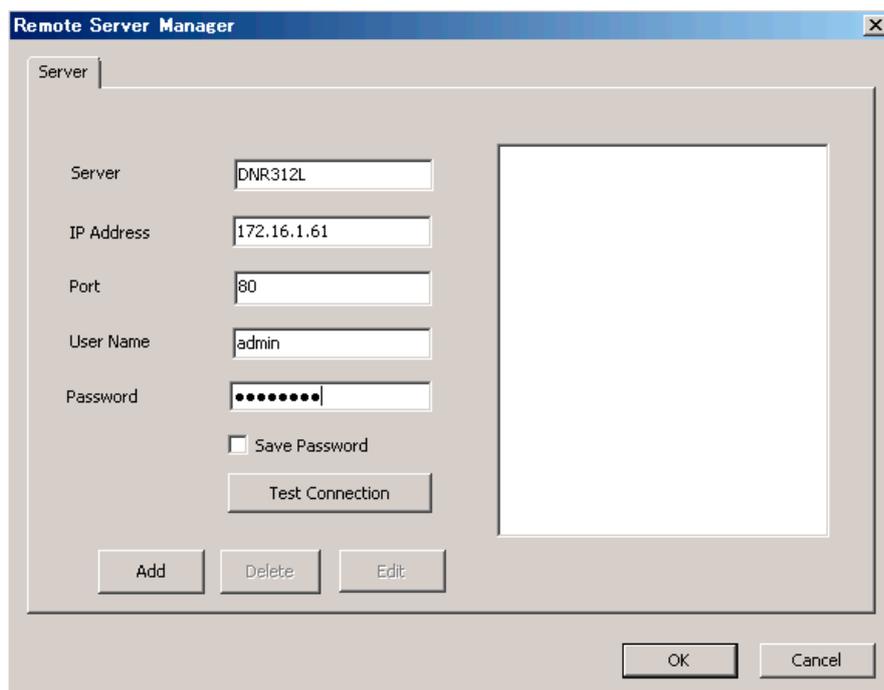


図 5-4 Remote Server Manager 画面

3. 「」 (Add) をクリックすると、「Open History」が表示されます。バックアップする録画映像の日付と時間を指定し、録画映像を選択します。

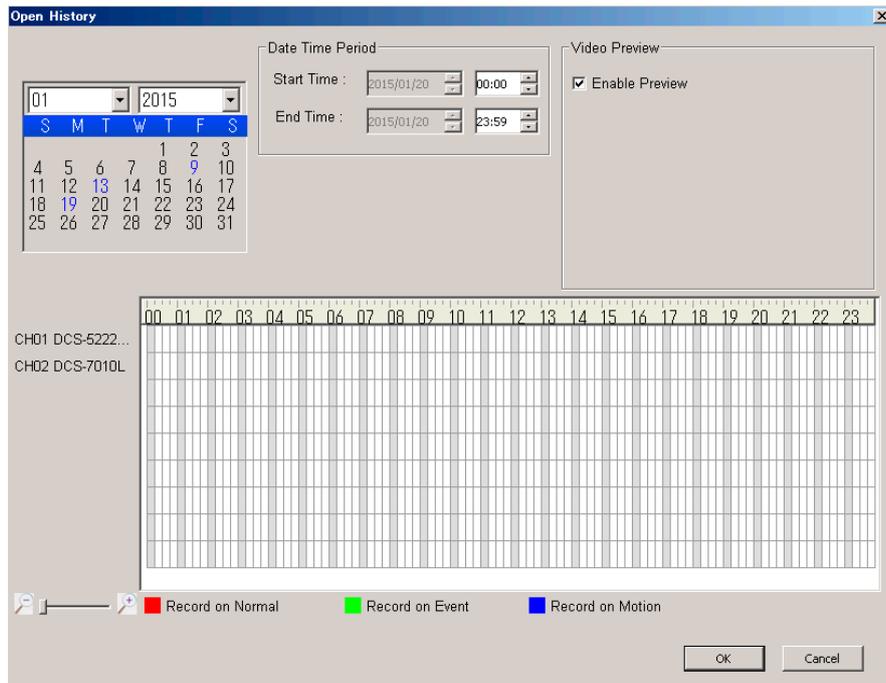


図 5-5 Open History 画面

注意 録画映像の選択方法は「Playback (録画再生)」をと同等の画面が使用されます。詳しくは「Playback (録画再生)」を参照ください。

4. リストに表示された録画データを選択し、「」 (Backup) をクリックするとバックアップ先を指定する画面が表示されます。「Include Playback Manager Program」にチェックを入れると、「Playback Manager」も一緒にバックアップされます。「OK」をクリックします。

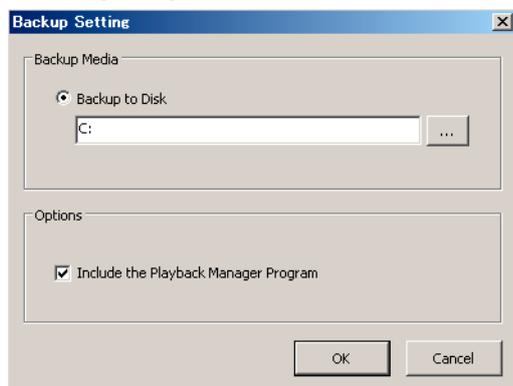


図 5-6 Backup Setting 画面

10. 「OK」ボタンをクリックすると、以下のバックアップ進捗画面が表示されます。

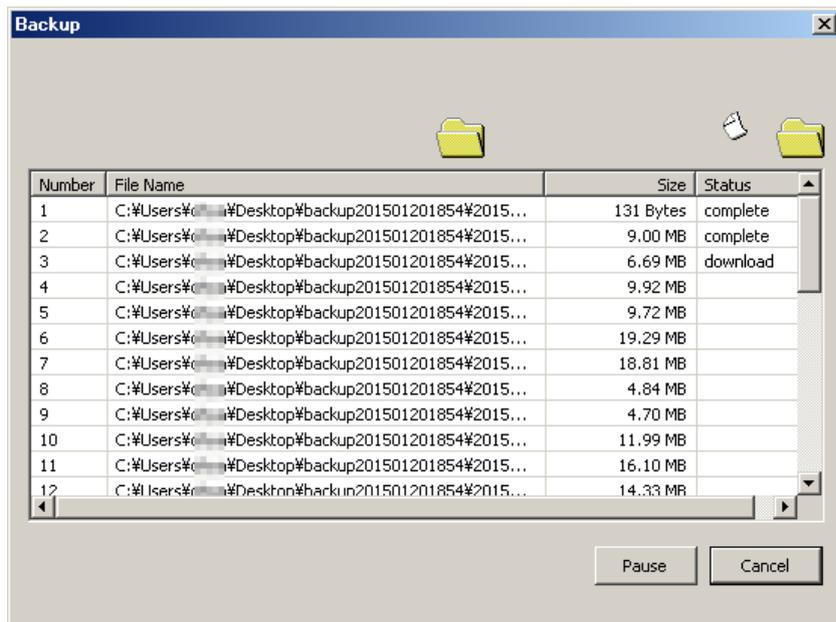


図 5-7 Backup Progress 画面

注意 「」 (Remove) をクリックするとリストからデータを削除できます。

注意 リモートバック画面の「Run」メニューからも「Add」「Remove」「Backup」は操作でき、「Logout」「Exit」も実行できます。



図 5-8 Run メニュー画面

Verification Tool (データ検証ツール)

「データ検証ツール」作成された録画データが変更されていないか検証するツールです。NVRによる各録画映像・画像のビデオフレームにNVRのデジタルサイン（透かし）が追加されているかを確認することで、データの信憑性を確実にします。

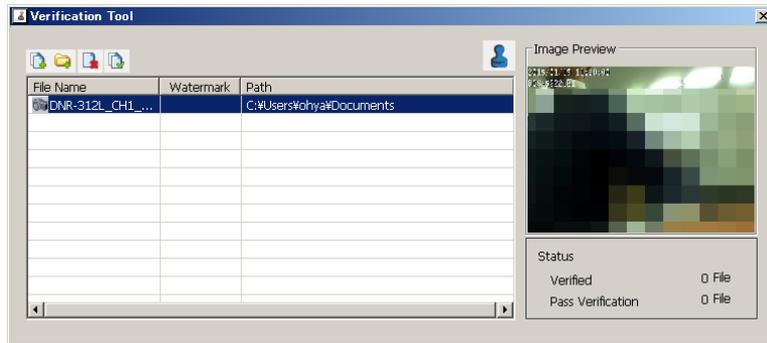


図 5-9 データ検証ツール画面

画面には以下の項目があります。

項目	説明
 (Add File)	検証するファイルをリストに追加します。
 (Add Folder)	検証するファイルが複数ある場合、ファイルのあるフォルダをリストに追加します。
 (Remove File)	ファイルをリストから削除します。
 (Select All)	リストのファイルをすべて選択します。
 (Verify)	選択したファイルを検証します。
File Name	検証するファイル名です。
Watermark	ファイルに追加されているデジタルサイン（透かし）の有無です。「V」がサインあり、「×」はサインなしです。
Path	ファイルのパスです。

注意 検証できるファイルのフォーマットは「.avi」「.asf」「.bmp」「.jpg」です。

付録 A よくお問い合わせいただくご質問 (FAQ)

1. 障害ディスクドライブの交換

ディスクドライブが故障した場合、ステータス LED は赤色に変わります。

障害ディスクは、同容量または少し多い容量の新しいディスクドライブと交換してください。その場合、必ずユニットの電源を切断後に行ってください。

ディスクドライブの交換方法

手順 1: NVR のカバーを開けます。

手順 2: 障害ディスクドライブを引き抜きます。

手順 3: 新しいディスクドライブをスロットに挿入します。

2. 管理者パスワードの初期値の回復

パスワードを忘れてしまった場合、「admin」パスワードを初期値にリセットすることができます。

リセット手順: Power LED が 3 回点滅するまで、10 秒間リセットボタンを押し続けます。管理者パスワードが空白になります。

警告 ユニットをリセット、再起動する場合、データ破壊の原因となることがあります。ユニットをリセットする前に記録データのバックアップを行ってください。

3. Internet Explorer 経由でユニットにログインできない場合。

- アンチウイルスソフトウェアの設定を確認します。
- アンチウイルスソフトウェアの設定を調整、または無効にします。

4. ActiveX のインストール

Internet Explorer の使用時にシステム画面を完全に見ることができない場合、ActiveX のインストールが完了していない可能性があります。

以下の手順で ActiveX をインストールします。以下は一例です。

手順 1: ブラウザで NVR にアクセスします。

手順 2: ActiveX のインストールをたずねるブラウザが開きます。

手順 3: 上部のバーをクリックし、「ActiveX コントロールのインストール」をさらにクリックすると、以下の画面が表示されます。



図 A-1 セキュリティの警告画面



図 A-2 セキュリティの警告画面

手順 4: 「インストールする」または「実行する」ボタンをクリックしてインストールします。